

心身障害者扶養保険財務状況将来予測

～ 令和5年度決算データによる ～

令和6年10月30日（水）

心身障害者扶養保険事業財務状況検討会

独立行政法人 福祉医療機構

目 次

I 将来予測等の概要	1
1 はじめに	1
2 将来予測の概要	2
(1) 計算の前提	2
① 基礎数値	
② 基礎率	
③ 将来の新規加入者数	
④ 保険料	
⑤ 公費負担	
⑥ 運用利回り	
(2) 人数の推移	3
① 加入者数の推移	
② 年金受給者数の推移	
(3) 保険収支予測	3
(4) 年金収支予測	4
(5) 将来予測まとめ	4
3 積立比率	5
(1) 積立比率について	5
(2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について..	5
(3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について..	5
4 責任準備金	6
(1) 責任準備金の算定方法	6
(2) 令和5年度の責任準備金	6
(3) 剰余金について	6
5 まとめ	7
II 令和5年度決算データによる将来予測結果（資料編）	9
1 計算の前提	11
(1) 基礎数値	11
(2) 基礎率	12
(3) 将来の新規加入者数	12
(4) 保険料	12
(5) 公費負担	13
(6) 運用利回り	13
2 人数の推移	14
(1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）	14
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）..	16
3 保険収支予測	18
4 年金収支予測	20

参考 1	2 3
○ 人数の推移.....	2 4
(1) 加入者数の推移（新規加入者数 2,000 人の場合）.....	2 4
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数 2,000 人の場合）..	2 6
○ 保険収支予測.....	2 8
○ 年金収支予測.....	3 0

参考 2	3 3
○ 人数の推移.....	3 4
(1) 加入者数の推移（現在加入者のみの場合）.....	3 4
(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合）.....	3 6
○ 保険収支予測.....	3 8
○ 年金収支予測.....	4 0

5 積立比率について	4 2
------------------	-----

6 責任準備金について（令和 5 年度末現在）	4 4
-------------------------------	-----

○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿	4 5
--------------------------------	-----

I 将来予測等の概要

1 はじめに

「心身障害者扶養保険事業財務状況検討会」は、心身障害者扶養保険事業の健全かつ安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、平成13年度以来、この事業の財政状況について、毎年度将来予測を実施し、長期的観点に立った分析検討による検証を行うとともに、加入者をはじめ、国、地方公共団体、障害者団体等の関係者に報告又は情報提供を行ってきた。

平成19年度には、本制度の安定的な運営を図るため、国において制度の在り方についての検討が行われ、平成20年4月から、保険料水準の見直し、公費による財政支援の延長等を骨子とした制度改正が実施された。

平成20年度以降、福祉医療機構の中期目標においても、「扶養保険事業の安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、扶養保険事業の財政状況を検証するとともに、加入者等に対し公表すること。なお、国においては少なくとも5年ごとに保険料水準等の見直しを行うこととしていることから、機構は基礎数値等見直しに必要な情報を提供するとともに、将来的に当該事業の安定的な運営に支障が見込まれる場合には、厚生労働大臣に対しその旨を申し出ること。」とされている。

令和4年度には、国において少なくとも5年ごとに実施することとされている保険料水準等の見直しが行われ、加入者死亡率や障害者死亡率等を見直した上で検討した結果、保険料水準等の制度を見直す必要性はないとされたが、安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、積立比率も用いて財政の健全性を検証し、その結果を公表するものとされた。

これを受け、本年度においては、加入者死亡率等の基礎率や運用利回りについて、令和4年度の国における検証で用いられたものを使用し、基礎数値を令和5年度末の実績値に置き換え、将来予測を行った。

これらの将来予測結果等について、必要な情報を国へ提供していくこととする。

2 将来予測の概要

(1) 計算の前提

国において少なくとも5年ごとに行われる保険料水準等の見直し後、毎年度、国の見直しの検討で用いられた加入者死亡率等の基礎率や運用利回りを用いて、その後の基礎数値等の実績値の変化がどう影響しているか、将来的にこの事業の安定的な運営に支障が見込まれるかどうかを検討することを検証の目的としている。

このため、前述のとおり本年度の財政状況の検証等については、令和4年度の国の見直しの検討で用いられた同基礎率等を使用した将来予測を行った。

① 基礎数値

加入者数等の基礎数値は、令和5年度末の実績値を用いた。

② 基礎率（障害者死亡率、加入者死亡率等）

令和4年度の国の見直しの検討に用いられた基礎率を用いた。

（「平成29～令和3年度実績」を基礎とし、責任準備金の算定の際に用いる率として国からの通知に示された率。）

③ 将来の新規加入者数

令和6年度以降、新規加入者が毎年1,000人であるとして将来予測を行った。

（参考：令和2年度実績1,033人、令和3年度実績1,009人、
令和4年度実績1,094人、令和5年度実績1,097人）

④ 保険料

平成20年度改正後の加入者年齢区分毎の保険料を用いた。

⑤ 公費負担

令和4年度の国における検討を踏まえた国からの通知で示された公費負担の額及び期間を使用した。

具体的には、令和10年度まで保険収支及び年金収支にそれぞれ毎年46億円、令和11年度は保険収支31億円、年金収支61億円、令和12年度から令和34年度まで年金収支に毎年92億円、令和35年度に年金収支31億円とした。

⑥ 運用利回り

運用利回りについては、保険収支、年金収支ともに1.5%として将来予測を行った。（責任準備金の算定の際に使用する予定利率として国からの通知に示された値）

上記の前提における将来予測を「メインシナリオ」としているが、当報告書においては、参考として「新規加入者数が毎年2,000人となるシナリオ」（23～31ページ）と、「新規加入者数が0人（現在加入者のみ）となるシナリオ」（33～41ページ）についても将来予測を行った。

なお、(2)以降については、「メインシナリオ」について結果を記載している。

(2) 人数の推移

① 加入者数の推移

加入者数は、令和5年度末では54,742人で、新規加入者数を毎年1,000人として推計すると、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数(1,000人)を上回る令和31年度までは減少を続けるが、令和31年度末を底に、以後は緩やかに増加する。

これは、令和5年度末における加入者数の約82%を占める年齢の高い平成20年度改正前の加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。

また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和5年度の74.3歳をピークにその後は徐々に低下する。

新規加入者数と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

② 年金受給者数の推移

年金受給者数は、令和5年度末では59,102人で、新規裁定者数(新規年金受給者数)が加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度には失権者数(年金受給者死亡数)を下回るため、令和13年度末をピークにその後は減少する。

また、年金受給者数(約5万9千人)が加入者数(約5万5千人)を上回っており、この傾向は令和38年度末まで継続する。

年金受給者の平均年齢は令和5年度で63.7歳となっているが、以後、毎年徐々に上昇し、令和34年度の74.3歳をピークに、以後は緩やかに低下する。

(3) 保険収支予測

公費以外の収入(保険料及び運用収入の合計)は概ねなだらかな増加傾向となる。

支出(保険金、弔慰金及び脱退一時金)は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和34年度まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。

収支差は、公費負担終了後の令和12年度から一時的にマイナス期間となるが、その後は保険料収入の増加や支出の減少に伴いマイナス幅が縮小し、令和21年度からは再びプラスに転じる。

保険資産は収支差に連動していることから、令和12年度から一時的に減少するが、令和21年度から再び増加に転じる。

(4) 年金収支予測

保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和3・4年度まで減少するが、令和3・5年度以降は増加に転じる。

支出は年金受給者数の増加に伴い令和1・4年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。

収支差は、令和6年度から11年度まではマイナスとなるが、公費投入額が増加する令和1・2年度から3・4年度の間はプラスとなる。その後、公費投入が終了する令和3・5年度から4・8年度まではマイナスとなるが、年金受給者数の減少による支出の減少傾向から、令和4・9年度以降、再びプラスに転じる。

年金資産は収支差に連動していることから、令和6年度から11年度までは減少するが、令和1・2年度から3・4年度の間は増加する。その後公費投入の終了に合わせて令和3・5年度から4・8年度までは減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であり、支出の減少傾向から、令和4・9年度以降再びプラスに転じる。

(5) 将来予測まとめ

新規加入者数を直近の実績と同程度となる毎年1,000人をメインシナリオとして将来予測を行い、財政状況を検証した結果、保険収支及び年金収支のいずれも令和4年度の国の将来見通しと同様、制度が長期的に安定的に運営・持続できることを、本年度の将来予測から確認することができた。

また、新規加入者が増加した場合のシナリオとして現在の2倍を想定した「新規加入者数毎年2,000人」とリスクシナリオとなる「新規加入者数0人」の将来予測もあわせて試算し、メインシナリオ（毎年1,000人）と比較検証した。

新規加入者数を、本制度の普及が進み、毎年2,000人とした場合、保険収支及び年金収支の推移はメインシナリオ（毎年1,000人）と同じ動きとなるが、各年次で収支差がメインシナリオを上回っていることから、保険資産及び年金資産が大きく増加していくこととなる。

新規加入者数0人とした場合、保険収支及び年金収支はメインシナリオ（毎年1,000人）を下回り、保険資産及び年金資産は大きく減少していくこととなるが、両資産の枯渇までは見込まれない結果となった。

以上のことから、メインシナリオ（毎年1,000人）を中心とするいずれのシナリオにおいても制度が持続可能であることが確認できた。

3 積立比率

(1) 積立比率について

積立比率とは、仮に、次年度以降の保険料収入や公費投入を見込まなかったとした場合、これまで保険料を支払った分の給付を行うのに必要な額(過去期間分給付現価)のうち、年度末保有積立金で賄える割合を示すものである。数値は、「保険(年金)資産÷(給付現価－収入現価)」により算出し、「年度末保有積立金(保険資産または年金資産)÷年度末加入者または年度末受給者の過去期間分給付現価」に相当するものであり、その数値が「1」を上回っていれば、保険(年金)資産は、過去期間分保険金等(年金)給付現価を上回っていることから、過去期間分の給付が賄えるものと考えられる。

検証にあたっては、公費が投入されている平成19年度以前加入者分と、公費が投入されていない平成20年度以降加入者分に分けて行っている。

平成19年度以前加入者分については、公費を投入し段階的に「1」を確保することとしているため、令和4年度に検討された国の将来見通しに対する令和5年度実績値との乖離状況について検証することとし、参考として運用利回りを0.25%(標準利率)としたケースについても検証している。

平成20年度以降加入者分については、公費投入がないため令和5年度実績で「1」を確保しているかについて検証した。

(2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について

令和5年度実績をみると、保険収支、年金収支ともに昨年度に示された国の将来見通しを上回っている。

【運用利回り1.5%ケース】

国の将来見通し：保険収支：0.80	年金収支：0.25
令和5年度実績：保険収支：0.81	年金収支：0.28

【運用利回り0.25%ケース(参考)】

国の将来見通し：保険収支：0.68	年金収支：0.20
令和5年度実績：保険収支：0.71	年金収支：0.22

(3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について

令和5年度実績をみると、運用利回り1.5%ケースにおいて保険収支、年金収支ともに「1」を上回っている。

【運用利回り1.5%ケース】

〔令和5年度実績：保険収支：1.20	年金収支：1.06〕
--------------------	------------

【運用利回り0.25%ケース(参考)】

〔令和5年度実績：保険収支：0.97	年金収支：0.81〕
--------------------	------------

4 責任準備金

(1) 責任準備金の算定方法

毎事業年度末現在において積み立てるべき責任準備金は、厚生労働大臣が定めるところにより、「事業年度末現在における年金受給者について将来支給する年金の現価相当額（以下「年金の現価相当額」という。）」から、「当該年金受給者のうち平成 20 年 4 月 1 日前加入のものに係る年金の支払いに充当すべき公費負担による将来の保険金の現価相当額」（公費負担現価）を控除した額とされた。これは、次年度以降の公費投入を見込む事業年度末現在積み立てるべき金額である。

また、年金の現価相当額については、「年金受給者の年金額に年 1.5% の予定利率及び別途定める障害者死亡率を基礎としてその者の年齢に応じて算出する年金現価率を乗じて計算した額を合算した額」とされている。

なお、令和 4 年度の国の検討において、給付に必要な費用は加入者本人の保険料で賄うことが基本であることから、公費投入については、制度を長期にわたって安定的に運営することを前提とした上で、現状の利益剰余金・繰越欠損金を踏まえて考えることが必要であるとされた。

それを踏まえ、国からの通知において、令和 4 年度決算をもとに精査された公費投入額・期間が示されており、これに基づき公費負担現価を算定している。

当該額・期間については、次期の見直しにおいて再度検証を行うこととされている。

(2) 令和 5 年度の責任準備金

上記の方法により計算した年金の現価相当額は 2, 263 億円、公費負担現価は 1, 600 億円となり、令和 5 年度末決算における責任準備金は 663 億円となった。

なお、公費負担現価については、令和 6 年度以降の公費負担現価 1, 922 億円のうち、受給者分を 1, 600 億円、加入者分を 322 億円としている。

(3) 剰余金について

令和 5 年度末における年金資産額は 717 億円と責任準備金 663 億円を上回り剰余金（年金資産額－責任準備金）は 54 億円となった。

令和 4 年度は、公費投入の額及び期間が見直されたこと等から、85 百万円の欠損金となったが、令和 5 年度においては、運用面について、国内株式・外国株式の運用利回りが大きくプラスとなり、44 億円（6.60%）の運用実績を上げたことから年金資産額が増加したこと等により、結果として 54 億円の剰余金を計上することとなった。

5 まとめ

【結 論】

令和 6 年度の財政検証結果等に基づき、将来における当該事業の安定的な運営について支障は見込まれないものとし、厚生労働大臣への申出は行わない。

上記の結論に至る過程において、心身障害者扶養保険事業の財政状況に関して、令和 5 年度実績による基礎数値を用いて以下の（１）から（３）について検証を行った。

（１）将来予測

令和 4 年度の国の見直しの検討で用いられた基礎率等を使用して、令和 6 年度以降 1,000 人の新規加入者をメインシナリオとする長期予測を実施し、保険資産・年金資産の枯渇は見込まれないことを確認した。

なお、併せて「新規加入者 2,000 人」及び「新規加入者 0 人」のシナリオによる長期予測を実施したが、いずれのシナリオにおいても保険資産・年金資産の枯渇は見込まれないことを確認した。

（２）積立比率

①平成 19 年度以前加入者については、公費を段階的に投入しているため、令和 4 年度の国の将来見通しと令和 5 年度実績との乖離状況について確認した。

②平成 20 年度以降加入者については、公費投入がないため、令和 5 年度実績で「積立比率 1.00」を確保しているかについて確認した。

上記に関して、計算の前提である「運用利回り 1.5%」のケースにおいて、保険収支・年金収支ともに①については昨年度の国の将来見通しを上回っていること、②については「積立比率 1.00」を確保していることを確認した。

なお、併せて「運用利回りを 0.25%（標準利率）」とするケースについても確認したところ、①は、令和 4 年度の国の将来見通しを上回り、②は、「積立比率 1.00」を上回らない結果であった。

（３）責任準備金及び剰余金

令和 5 年度の責任準備金は、前年度から 32 億円減の 663 億円であった。令和 4 年度は公費投入の期間及び金額を見直したこと等から 85 百万円の欠損金を計上したが、令和 5 年度は、年金資産額が増額となったこと、年金受給者の平均年齢の上昇などにより公費負担現価が増額し、責任準備金が減少したこと等により、54 億円の剰余金を計上した。

（参考）年金資産の運用

資産運用面については、7 月に日銀がイールドカーブコントロールの運用柔軟化を決定したこと等を受けて国内金利が大きく上昇したことにより国内債券の収益率がマイナスとなりましたが、株式の収益率が大幅にプラスとなったこと、外国資産に関し

ては円安が円ベースでの収益率のプラスに寄与したことから、通期の運用利回りは6.6%となり、各資産毎のベンチマーク収益率は概ね確保している。

引き続き、長期的な観点から安全かつ効率的な運用に努め、今後も収益の着実な確保に向けて一層最善を尽くすことに期待したい。

最後に、本事業は多くの関係者がそれぞれの立場で制度を支えている仕組みであることに留意し、福祉医療機構としては、引き続き安全かつ効率的な運用を実施し、厚生労働大臣が指示する利回りの確保に努めるとともに、制度の実施主体である地方公共団体等関係者に十分な情報提供を行い、引き続き広報に積極的に取り組むことで新規加入者を増やす等、制度の長期で安定的な運営に努める必要がある。

令和5年度決算データによる将来予測結果（資料編）

Ⅱ 令和５年度決算データによる将来予測結果

１ 計算の前提

① 基礎数値

令和５年度末実績値

	全体	特例加入者 (注)	平成２０年４月１日前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成２０年４月１日 以降加入者
加 入 者 数	54,742人	11,762人	33,212人	9,768人
加入者平均年齢	74.2歳	84.5歳	75.9歳	55.9歳
障害者平均年齢	43.3歳	55.7歳	45.2歳	21.8歳
保険料免除者数	36,413人	11,754人	24,659人	0人
年金受給者数	59,102人	58,976人		126人
年金受給者平均年 齢	63.7歳	63.8歳		37.6歳
保 険 資 産	98,727,105千円			
年 金 資 産	71,683,071千円			

(注) 第２次改正（昭和６１年４月～）以前の旧第１保険（平成７年１２月３１日以前までの保険区分であって、加入者の年齢が４５歳未満の者を対象とした保険）の１口目の加入者

② 基礎率

	算定基礎
障害者死亡率	平成29～令和3年度実績を基礎とし100歳まで以下の2つに区分け ・ 障害者男性 ・ 障害者女性
加入者死亡率	平成29～令和3年度実績を基礎とし105歳まで以下の2つに区分け ・ 加入者男性 ・ 加入者女性
脱 退 率	平成29～令和3年度実績を基礎とし64歳まで

③ 将来の新規加入者数

新規加入者数	毎年度1,000人
--------	-----------

加入者及び障害者の年齢分布、男女比率は過去5か年実績平均を用いている。

※参考として、「現在加入者のみ」（今後新規加入者がゼロであっても制度を維持できるかどうかを参考検証）及び「毎年度2,000人」の場合も推計した。

④ 保険料

(単位：円)

加入時年齢（注）	特例加入者 （注）	平成20年4月1日前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成20年4月1日 以降加入者
35歳未満	5,600	5,600	9,300
35歳以上40歳未満	6,900	6,900	11,400
40歳以上45歳未満	8,700	8,700	14,300
45歳以上50歳未満	10,600	10,600	17,300
50歳以上55歳未満	10,600	11,600	18,800
55歳以上60歳未満	10,600	12,800	20,700
60歳以上65歳未満	10,600	14,500	23,300

（注）特例加入者については、昭和61年4月1日現在の年齢

⑤ 公費負担

	令和6～10年度	令和11年度	令和12～34年度	令和35年度
特例保険料	46億円	31億円	—	—
特例保険金	46億円	61億円	92億円	31億円

⑥ 運用利回り

保険収支	: 1.5%
年金収支	: 1.5%

※積立比率の算出ケースとしてのみ使用

保険収支	: 0.25%
年金収支	: 0.25%

(参考1) 弔慰金給付保険金

(単位: 円)

加入期間	平成20年3月31日 以前加入者	平成20年4月1日 以降加入者
1年以上～5年未満	30,000	50,000
5年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

(参考2) 脱退一時金給付保険金

(単位: 円)

加入期間	平成20年3月31日 以前加入者	平成20年4月1日 以降加入者
5年以上～10年未満	45,000	75,000
10年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

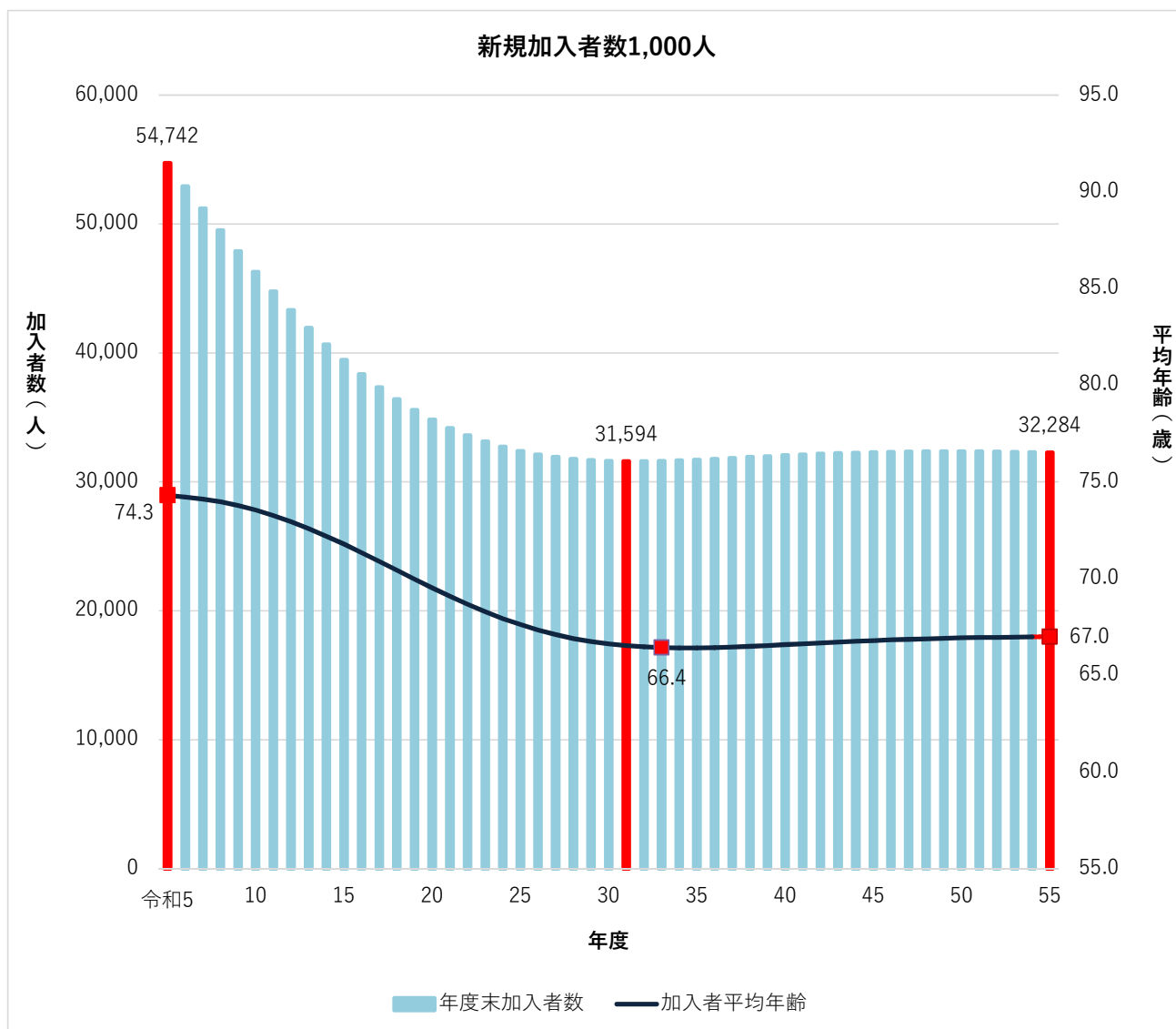
2 人数の推移

(1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）

（単位：人、歳）

年次	年度		年 度 始 加入者数	新 規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年 度 末 加入者数	保 険 料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	5	2023						54,742	36,413	74.3
1	6	2024	54,742	1,000	2,421	330	70	52,921	34,624	74.2
2	7	2025	52,921	1,000	2,331	322	71	51,197	33,237	74.1
3	8	2026	51,197	1,000	2,298	315	71	49,513	31,818	74.0
4	9	2027	49,513	1,000	2,259	308	72	47,873	30,458	73.8
5	10	2028	47,873	1,000	2,212	299	73	46,289	29,992	73.5
6	11	2029	46,289	1,000	2,156	290	74	44,769	28,425	73.3
7	12	2030	44,769	1,000	2,095	281	74	43,319	26,638	72.9
8	13	2031	43,319	1,000	2,027	270	75	41,946	24,934	72.6
9	14	2032	41,946	1,000	1,953	260	76	40,658	23,241	72.2
10	15	2033	40,658	1,000	1,875	249	77	39,457	21,691	71.8
11	16	2034	39,457	1,000	1,795	237	78	38,347	20,165	71.3
12	17	2035	38,347	1,000	1,715	226	78	37,327	18,693	70.9
13	18	2036	37,327	1,000	1,633	215	79	36,401	17,418	70.4
14	19	2037	36,401	1,000	1,551	203	80	35,567	17,418	70.0
15	20	2038	35,567	1,000	1,470	192	80	34,825	15,313	69.5
16	21	2039	34,825	1,000	1,389	182	80	34,173	14,572	69.1
17	22	2040	34,173	1,000	1,312	172	81	33,608	13,949	68.7
18	23	2041	33,608	1,000	1,238	163	81	33,127	13,411	68.3
19	24	2042	33,127	1,000	1,167	155	81	32,724	12,920	67.9
20	25	2043	32,724	1,000	1,102	147	81	32,394	12,640	67.6
21	26	2044	32,394	1,000	1,042	139	82	32,131	12,965	67.3
22	27	2045	32,131	1,000	988	133	82	31,928	12,752	67.1
23	28	2046	31,928	1,000	940	127	82	31,778	12,637	66.9
24	29	2047	31,778	1,000	897	122	82	31,677	12,557	66.7
25	30	2048	31,677	1,000	860	117	82	31,618	12,533	66.6
26	31	2049	31,618	1,000	828	114	82	31,594	12,528	66.5
27	32	2050	31,594	1,000	802	111	82	31,599	12,541	66.5
28	33	2051	31,599	1,000	783	108	82	31,625	12,595	66.4
29	34	2052	31,625	1,000	770	106	82	31,666	12,656	66.4
30	35	2053	31,666	1,000	759	105	82	31,720	12,751	66.4
31	36	2054	31,720	1,000	751	104	82	31,783	12,841	66.4
32	37	2055	31,783	1,000	746	103	82	31,852	12,938	66.5
33	38	2056	31,852	1,000	745	102	82	31,922	13,040	66.5
34	39	2057	31,922	1,000	746	102	82	31,992	13,142	66.5
35	40	2058	31,992	1,000	749	102	82	32,058	13,243	66.6
36	41	2059	32,058	1,000	753	103	82	32,120	13,339	66.6
37	42	2060	32,120	1,000	758	104	82	32,175	13,430	66.7
38	43	2061	32,175	1,000	765	104	82	32,224	13,513	66.7
39	44	2062	32,224	1,000	771	105	82	32,265	13,588	66.8
40	45	2063	32,265	1,000	778	106	82	32,298	13,655	66.8
41	46	2064	32,298	1,000	784	107	82	32,324	13,714	66.8
42	47	2065	32,324	1,000	791	108	82	32,343	13,766	66.9
43	48	2066	32,343	1,000	797	109	82	32,354	13,811	66.9
44	49	2067	32,354	1,000	803	110	82	32,359	13,849	66.9
45	50	2068	32,359	1,000	808	111	82	32,358	13,882	66.9
46	51	2069	32,358	1,000	812	112	82	32,351	13,908	67.0
47	52	2070	32,351	1,000	816	113	82	32,340	13,931	67.0
48	53	2071	32,340	1,000	820	113	82	32,325	13,949	67.0
49	54	2072	32,325	1,000	822	114	82	32,306	13,964	67.0
50	55	2073	32,306	1,000	825	115	82	32,284	13,976	67.0

○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



概要

- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（1,000人）を上回る令和31年度まで減少を続けるが、令和31年度を底に、以後は緩やかに増加する。
- ・ これは令和5年度末における加入者数の約82%を占める年齢の高い平成20年度改正前の加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。
また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和5年度の74.3歳をピークにその後は徐々に低下する。
- ・ 新規加入者数と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

（注）「平均年齢」の考え方

各年度の加入者平均年齢は加入者が制度に加入してからの加入期間と密接にリンクしている。

- ・ 加入者平均年齢が高い場合は「加入期間の長い高齢な加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が多くなる）」と考えられる。
- ・ 加入者平均年齢が低い場合は「加入期間の短い比較的若い加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が少なくなる）」と考えられる。

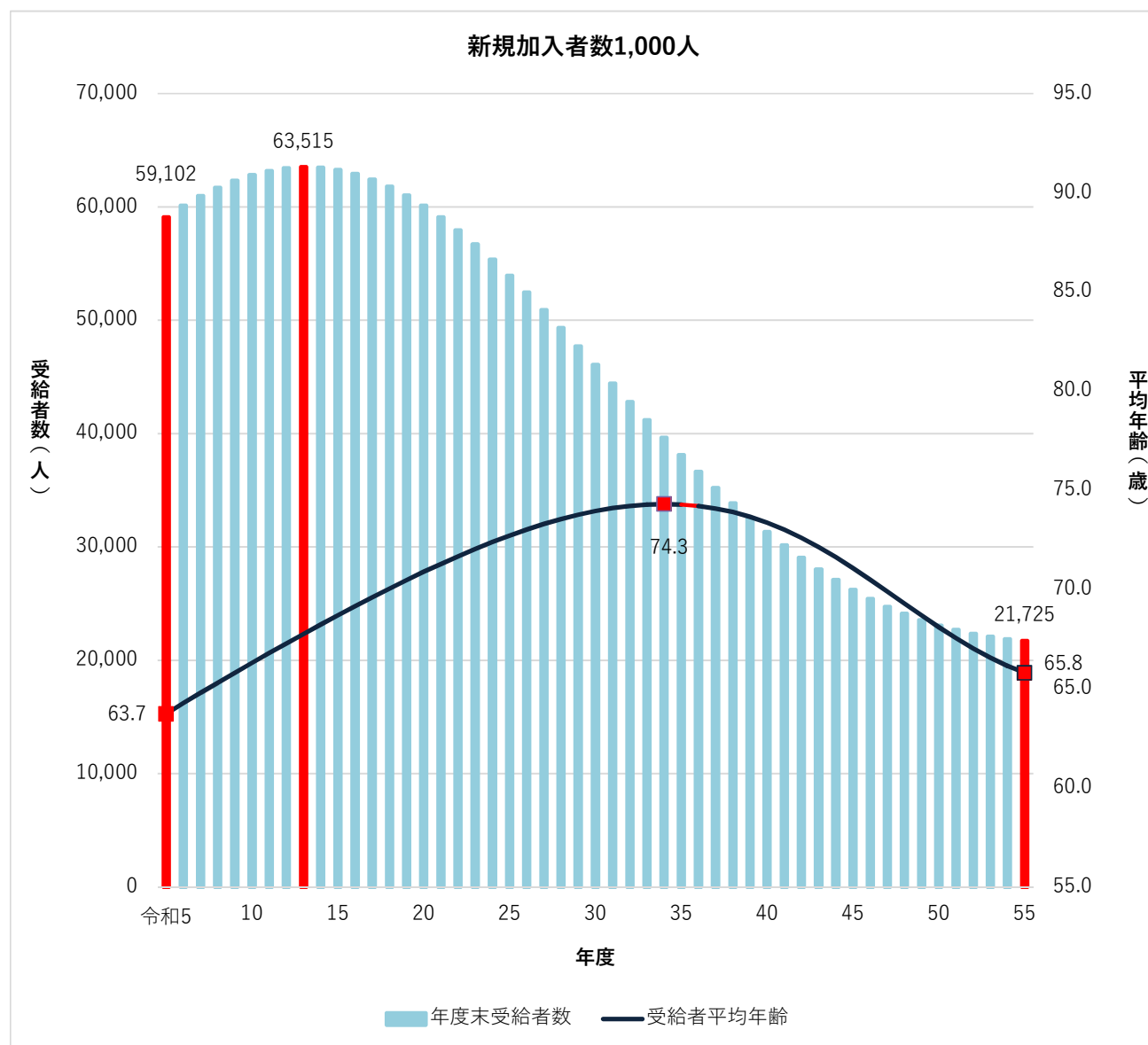
※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）

(単位：人、歳、%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	5	2023				59,102	63.7	108.0
1	6	2024	59,102	2,421	1,407	60,116	64.3	113.6
2	7	2025	60,116	2,331	1,482	60,965	64.8	119.1
3	8	2026	60,965	2,298	1,559	61,703	65.3	124.6
4	9	2027	61,703	2,259	1,636	62,327	65.8	130.2
5	10	2028	62,327	2,212	1,714	62,825	66.3	135.7
6	11	2029	62,825	2,156	1,789	63,192	66.8	141.2
7	12	2030	63,192	2,095	1,863	63,424	67.3	146.4
8	13	2031	63,424	2,027	1,936	63,515	67.8	151.4
9	14	2032	63,515	1,953	2,006	63,462	68.2	156.1
10	15	2033	63,462	1,875	2,074	63,263	68.7	160.3
11	16	2034	63,263	1,795	2,140	62,918	69.2	164.1
12	17	2035	62,918	1,715	2,203	62,430	69.6	167.3
13	18	2036	62,430	1,633	2,264	61,799	70.0	169.8
14	19	2037	61,799	1,551	2,321	61,029	70.5	171.6
15	20	2038	61,029	1,470	2,370	60,128	70.9	172.7
16	21	2039	60,128	1,389	2,416	59,101	71.3	172.9
17	22	2040	59,101	1,312	2,455	57,959	71.7	172.5
18	23	2041	57,959	1,238	2,488	56,709	72.0	171.2
19	24	2042	56,709	1,167	2,511	55,365	72.4	169.2
20	25	2043	55,365	1,102	2,527	53,940	72.7	166.5
21	26	2044	53,940	1,042	2,532	52,450	73.0	163.2
22	27	2045	52,450	988	2,527	50,911	73.3	159.5
23	28	2046	50,911	940	2,525	49,326	73.6	155.2
24	29	2047	49,326	897	2,520	47,703	73.8	150.6
25	30	2048	47,703	860	2,501	46,062	74.0	145.7
26	31	2049	46,062	828	2,468	44,423	74.1	140.6
27	32	2050	44,423	802	2,428	42,797	74.2	135.4
28	33	2051	42,797	783	2,381	41,199	74.3	130.3
29	34	2052	41,199	770	2,332	39,637	74.3	125.2
30	35	2053	39,637	759	2,282	38,115	74.3	120.2
31	36	2054	38,115	751	2,227	36,638	74.2	115.3
32	37	2055	36,638	746	2,168	35,217	74.1	110.6
33	38	2056	35,217	745	2,108	33,854	73.9	106.1
34	39	2057	33,854	746	2,047	32,552	73.7	101.8
35	40	2058	32,552	749	1,985	31,316	73.4	97.7
36	41	2059	31,316	753	1,921	30,148	73.0	93.9
37	42	2060	30,148	758	1,854	29,053	72.6	90.3
38	43	2061	29,053	765	1,788	28,030	72.1	87.0
39	44	2062	28,030	771	1,713	27,088	71.6	84.0
40	45	2063	27,088	778	1,644	26,222	71.1	81.2
41	46	2064	26,222	784	1,578	25,428	70.5	78.7
42	47	2065	25,428	791	1,497	24,722	69.9	76.4
43	48	2066	24,722	797	1,420	24,098	69.3	74.5
44	49	2067	24,098	803	1,351	23,550	68.7	72.8
45	50	2068	23,550	808	1,286	23,072	68.1	71.3
46	51	2069	23,072	812	1,210	22,675	67.5	70.1
47	52	2070	22,675	816	1,147	22,343	67.0	69.1
48	53	2071	22,343	820	1,088	22,075	66.6	68.3
49	54	2072	22,075	822	1,025	21,872	66.1	67.7
50	55	2073	21,872	825	972	21,725	65.8	67.3

○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



概要

- ・ 年金受給者数は令和5年度末では59,102人で、新規裁定者数（新規年金受給者数）が加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度には失権者数（年金受給者死亡数）を下回るため、令和13年度末をピークにその後は減少する。
- ・ また、年金受給者数（約5万9千人）が加入者数（約5万5千人）を上回っており、この傾向は令和38年度末まで継続する。
- ・ 年金受給者の平均年齢は、令和5年度で63.7歳となっているが、以後、毎年徐々に上昇し、令和34年度の74.3歳をピークに以後は緩やかに低下する。

（注）「平均年齢」の考え方

各年度の受給者平均年齢は加入者が死亡してからの年金受給期間と密接にリンクしている。

- ・ 受給者平均年齢が高い場合は「今後の受給期間の短い高齢な受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が多くなる）」と考えられる。
- ・ 受給者平均年齢が低い場合は「今後の受給期間の長い比較的若い受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が少なくなる）」と考えられる。

※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

3 保険収支予測

○ 運用利回り 1.5%（新規加入者数1,000人の場合）

（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入	（保険金、弔慰金、脱退一時金）		
0	5	2023							98,727
1	6	2024	9,165	3,122	4,600	1,443	8,203	963	99,690
2	7	2025	9,243	3,183	4,600	1,460	7,917	1,326	101,016
3	8	2026	9,287	3,206	4,600	1,481	7,795	1,492	102,508
4	9	2027	9,336	3,232	4,600	1,504	7,692	1,644	104,152
5	10	2028	9,327	3,197	4,600	1,530	7,552	1,775	105,927
6	11	2029	7,822	3,165	3,100	1,557	7,378	444	106,371
7	12	2030	4,793	3,228	0	1,566	7,205	-2,412	103,960
8	13	2031	4,853	3,322	0	1,532	7,001	-2,148	101,812
9	14	2032	4,920	3,418	0	1,502	6,798	-1,877	99,935
10	15	2033	4,992	3,515	0	1,476	6,571	-1,580	98,355
11	16	2034	5,066	3,611	0	1,455	6,339	-1,273	97,081
12	17	2035	5,149	3,711	0	1,438	6,124	-974	96,107
13	18	2036	5,229	3,803	0	1,426	5,886	-657	95,450
14	19	2037	5,305	3,887	0	1,419	5,659	-353	95,097
15	20	2038	5,363	3,947	0	1,415	5,431	-68	95,029
16	21	2039	5,390	3,973	0	1,416	5,210	179	95,209
17	22	2040	5,408	3,987	0	1,421	5,001	406	95,615
18	23	2041	5,426	3,998	0	1,428	4,812	613	96,228
19	24	2042	5,449	4,010	0	1,439	4,610	839	97,067
20	25	2043	5,464	4,011	0	1,453	4,446	1,017	98,084
21	26	2044	5,355	3,887	0	1,468	4,298	1,057	99,141
22	27	2045	5,311	3,826	0	1,485	4,177	1,134	100,275
23	28	2046	5,330	3,828	0	1,502	4,067	1,263	101,539
24	29	2047	5,350	3,828	0	1,522	3,985	1,365	102,904
25	30	2048	5,371	3,828	0	1,543	3,922	1,449	104,353
26	31	2049	5,393	3,828	0	1,565	3,879	1,515	105,867
27	32	2050	5,419	3,831	0	1,588	3,842	1,577	107,444
28	33	2051	5,444	3,832	0	1,612	3,833	1,611	109,055
29	34	2052	5,469	3,834	0	1,636	3,833	1,636	110,691
30	35	2053	5,494	3,834	0	1,660	3,854	1,640	112,331
31	36	2054	5,518	3,834	0	1,685	3,876	1,643	113,973
32	37	2055	5,543	3,834	0	1,709	3,885	1,659	115,632
33	38	2056	5,569	3,835	0	1,734	3,902	1,666	117,299
34	39	2057	5,594	3,835	0	1,759	3,934	1,659	118,958
35	40	2058	5,618	3,835	0	1,783	3,968	1,650	120,609
36	41	2059	5,642	3,835	0	1,808	4,011	1,631	122,240
37	42	2060	5,666	3,835	0	1,832	4,064	1,602	123,842
38	43	2061	5,690	3,834	0	1,856	4,111	1,579	125,421
39	44	2062	5,713	3,834	0	1,879	4,164	1,549	126,970
40	45	2063	5,736	3,834	0	1,902	4,216	1,520	128,491
41	46	2064	5,758	3,834	0	1,924	4,265	1,494	129,984
42	47	2065	5,781	3,834	0	1,946	4,311	1,470	131,454
43	48	2066	5,802	3,834	0	1,968	4,353	1,450	132,903
44	49	2067	5,824	3,834	0	1,989	4,392	1,432	134,336
45	50	2068	5,845	3,834	0	2,011	4,426	1,419	135,755
46	51	2069	5,866	3,834	0	2,032	4,455	1,411	137,165
47	52	2070	5,887	3,834	0	2,053	4,480	1,407	138,573
48	53	2071	5,908	3,834	0	2,074	4,501	1,407	139,980
49	54	2072	5,929	3,834	0	2,095	4,518	1,411	141,391
50	55	2073	5,950	3,834	0	2,116	4,531	1,419	142,810

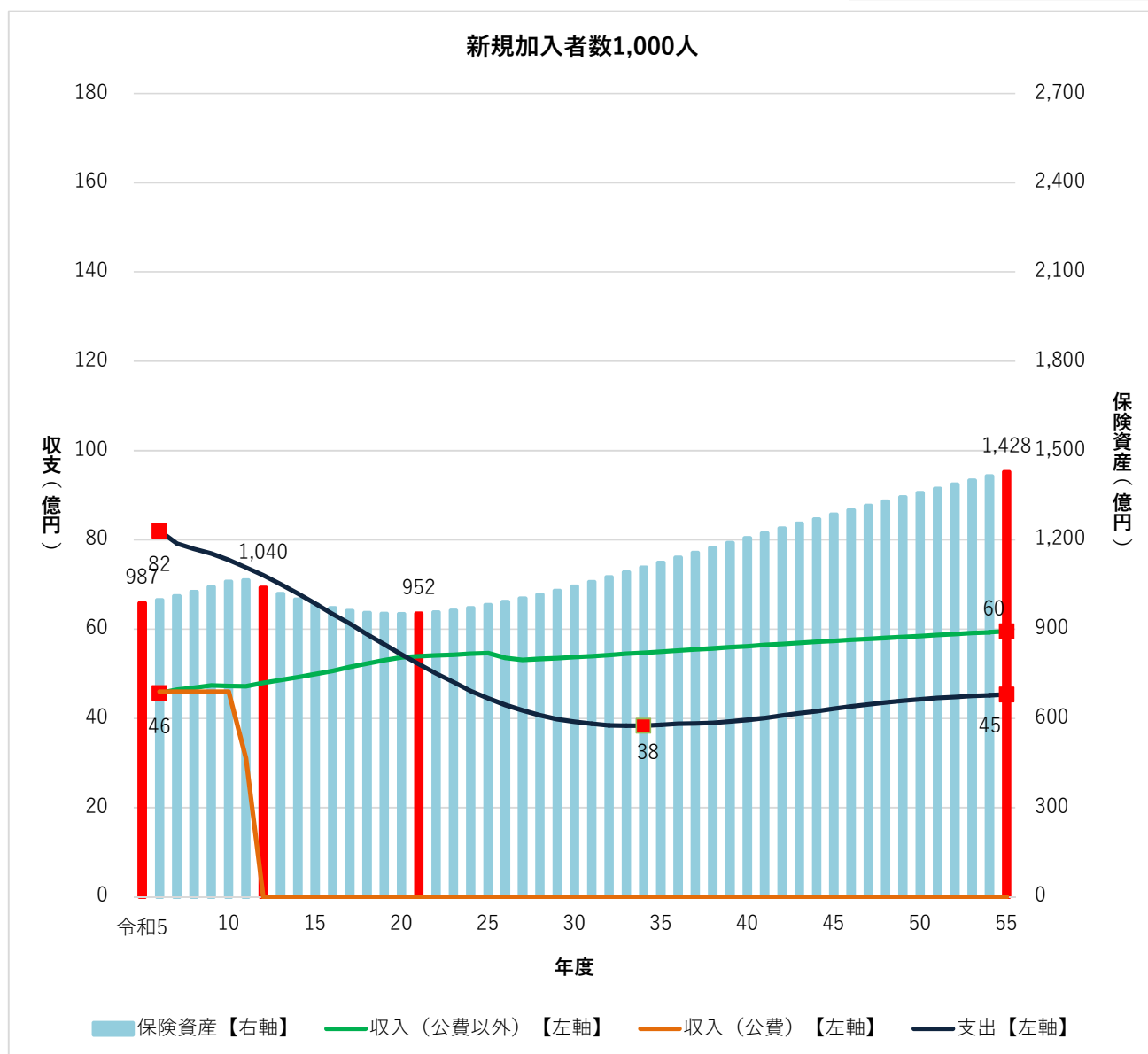
○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>

R 4 ～ R 1 0 : 4 6 億円

R 1 1 : 3 1 億円

R 1 2 ～ : (なし)



概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ねなだらかな増加傾向となる。
- ・ 支出（保険金、弔慰金及び脱退一時金）は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和34年度まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。
- ・ 収支差は、公費負担終了後の令和12年度から一時的にマイナス期間となるが、その後は保険料収入の増加や支出の減少に伴い縮小し、令和21年度からは再びプラスに転じる。
- ・ 保険資産は収支差に連動していることから、令和12年度から一時的に減少するが、令和21年度からは再び増加に転じる。

4 年金収支予測

○ 運用利回り 1.5%（新規加入者数1,000人の場合）

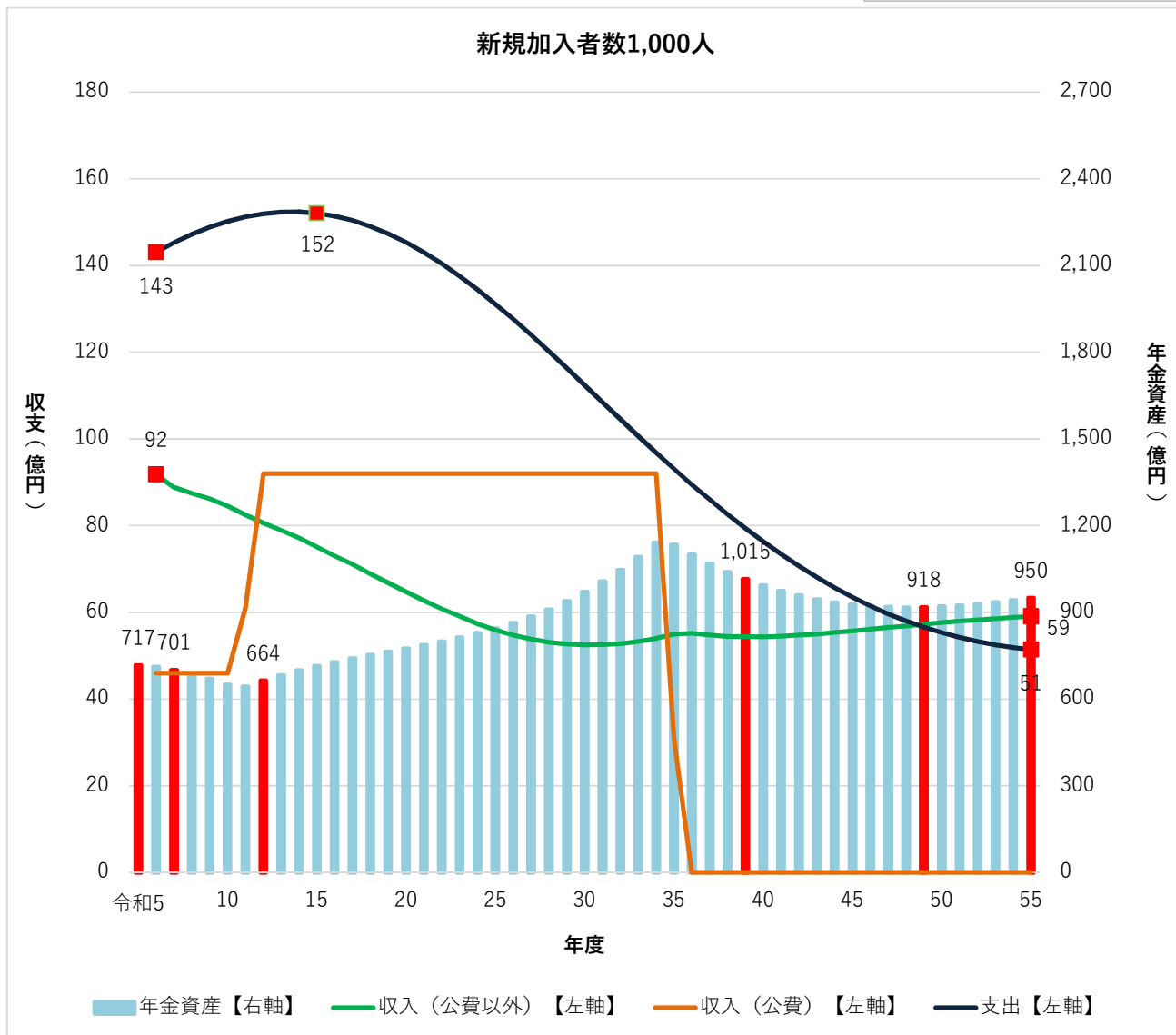
（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	5	2023							71,683
1	6	2024	13,781	8,152	4,600	1,029	14,306	-525	71,158
2	7	2025	13,485	7,867	4,600	1,018	14,530	-1,045	70,113
3	8	2026	13,345	7,746	4,600	1,000	14,720	-1,375	68,738
4	9	2027	13,220	7,643	4,600	977	14,883	-1,663	67,074
5	10	2028	13,054	7,504	4,600	950	15,018	-1,964	65,110
6	11	2029	14,348	7,330	6,100	918	15,122	-773	64,337
7	12	2030	17,263	7,158	9,200	905	15,194	2,070	66,406
8	13	2031	17,090	6,956	9,200	934	15,232	1,858	68,265
9	14	2032	16,915	6,754	9,200	961	15,236	1,678	69,943
10	15	2033	16,714	6,529	9,200	984	15,206	1,508	71,450
11	16	2034	16,504	6,298	9,200	1,006	15,141	1,363	72,814
12	17	2035	16,310	6,084	9,200	1,025	15,040	1,269	74,083
13	18	2036	16,091	5,848	9,200	1,044	14,906	1,186	75,269
14	19	2037	15,883	5,622	9,200	1,061	14,737	1,146	76,415
15	20	2038	15,674	5,396	9,200	1,078	14,536	1,137	77,552
16	21	2039	15,472	5,177	9,200	1,095	14,305	1,167	78,719
17	22	2040	15,282	4,969	9,200	1,113	14,044	1,238	79,957
18	23	2041	15,113	4,781	9,200	1,132	13,756	1,357	81,315
19	24	2042	14,933	4,580	9,200	1,153	13,444	1,489	82,804
20	25	2043	14,794	4,417	9,200	1,177	13,111	1,683	84,487
21	26	2044	14,673	4,269	9,200	1,204	12,761	1,912	86,399
22	27	2045	14,583	4,148	9,200	1,234	12,396	2,186	88,585
23	28	2046	14,509	4,040	9,200	1,269	12,021	2,488	91,073
24	29	2047	14,466	3,957	9,200	1,309	11,635	2,832	93,905
25	30	2048	14,449	3,896	9,200	1,354	11,242	3,207	97,112
26	31	2049	14,457	3,852	9,200	1,404	10,847	3,610	100,722
27	32	2050	14,477	3,815	9,200	1,461	10,454	4,023	104,745
28	33	2051	14,532	3,807	9,200	1,524	10,065	4,466	109,211
29	34	2052	14,601	3,807	9,200	1,594	9,685	4,917	114,128
30	35	2053	8,599	3,829	3,100	1,671	9,313	-713	113,415
31	36	2054	5,513	3,850	0	1,663	8,951	-3,438	109,977
32	37	2055	5,473	3,859	0	1,614	8,601	-3,128	106,849
33	38	2056	5,446	3,876	0	1,570	8,264	-2,819	104,031
34	39	2057	5,438	3,908	0	1,530	7,942	-2,504	101,527
35	40	2058	5,436	3,941	0	1,495	7,635	-2,199	99,328
36	41	2059	5,449	3,984	0	1,465	7,344	-1,895	97,433
37	42	2060	5,475	4,037	0	1,439	7,069	-1,594	95,839
38	43	2061	5,500	4,083	0	1,417	6,812	-1,311	94,528
39	44	2062	5,536	4,136	0	1,400	6,573	-1,037	93,491
40	45	2063	5,574	4,187	0	1,386	6,352	-779	92,713
41	46	2064	5,612	4,236	0	1,376	6,149	-537	92,176
42	47	2065	5,652	4,282	0	1,370	5,965	-313	91,862
43	48	2066	5,690	4,323	0	1,367	5,802	-112	91,750
44	49	2067	5,728	4,362	0	1,367	5,657	71	91,822
45	50	2068	5,765	4,396	0	1,369	5,530	235	92,057
46	51	2069	5,798	4,425	0	1,373	5,420	378	92,435
47	52	2070	5,829	4,449	0	1,380	5,328	501	92,935
48	53	2071	5,858	4,470	0	1,388	5,252	606	93,542
49	54	2072	5,885	4,487	0	1,398	5,191	694	94,236
50	55	2073	5,909	4,500	0	1,409	5,144	765	95,001

○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>

R 5 ～ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 6 1 億円
R 1 2 ～ R 3 4	: 9 2 億円
R 3 5	: 3 1 億円
R 3 6 ～	: (なし)



概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和34年度まで減少するが、令和35年度以降は増加に転じる。
- ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和14年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
- ・ 収支差は、令和6年度から11年度ではマイナスとなるが、公費投入額が増加する令和12年度から34年度の間はプラスとなる。その後、公費投入が終了する令和35年度から48年度まではマイナスとなるが、令和49年度以降、再びプラスに転じる。
- ・ 年金資産は、収支差に連動していることから、令和6年度から11年度では減少するが、令和12年度から34年度の間は増加する。その後公費投入の終了に合わせて令和35年度から48年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、令和49年度以降再びプラスに転じる。

参考 1

新規加入者数2,000人の場合

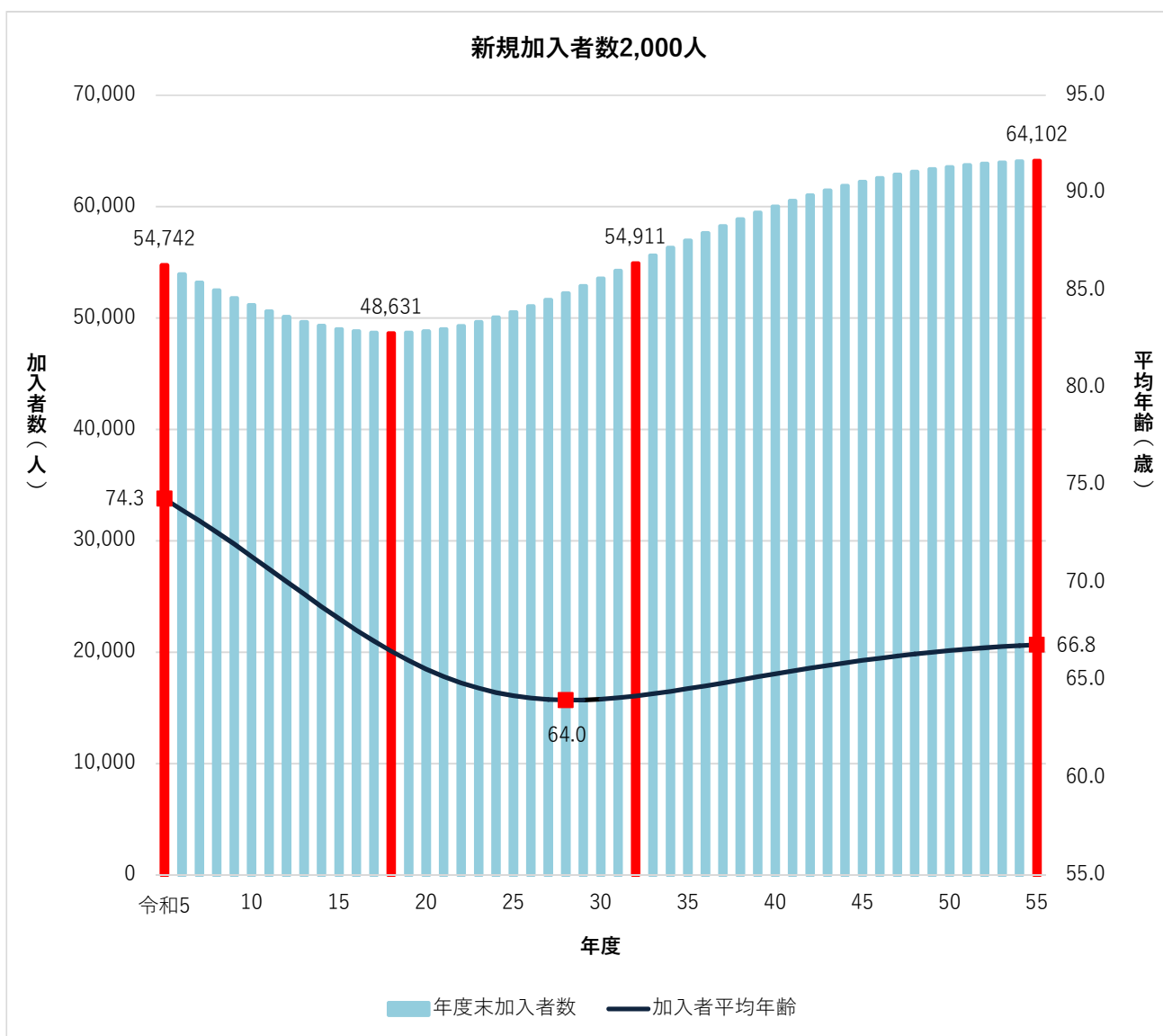
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）

(単位：人、歳)

年次	年度 令和	西暦	年 度 始 加入者数	新 規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年 度 末 加入者数	保 険 料 免除者数	平均年齢
0	5	2023						54,742	36,413	74.3
1	6	2024	54,742	2,000	2,423	331	75	53,912	34,624	73.7
2	7	2025	53,912	2,000	2,334	324	81	53,173	33,237	73.2
3	8	2026	53,173	2,000	2,304	319	86	52,463	31,818	72.6
4	9	2027	52,463	2,000	2,268	312	92	51,791	30,458	72.0
5	10	2028	51,791	2,000	2,223	305	97	51,165	29,992	71.3
6	11	2029	51,165	2,000	2,170	297	103	50,595	28,425	70.7
7	12	2030	50,595	2,000	2,111	289	108	50,087	26,638	70.1
8	13	2031	50,087	2,000	2,047	280	113	49,648	24,934	69.4
9	14	2032	49,648	2,000	1,976	270	118	49,283	23,241	68.8
10	15	2033	49,283	2,000	1,902	260	123	48,998	21,691	68.2
11	16	2034	48,998	2,000	1,827	250	128	48,793	20,165	67.6
12	17	2035	48,793	2,000	1,751	240	132	48,671	18,693	67.0
13	18	2036	48,671	2,000	1,674	229	136	48,631	17,418	66.5
14	19	2037	48,631	2,000	1,598	219	140	48,673	17,418	66.0
15	20	2038	48,673	2,000	1,523	210	143	48,797	15,313	65.6
16	21	2039	48,797	2,000	1,449	201	146	49,001	14,572	65.2
17	22	2040	49,001	2,000	1,380	193	149	49,280	13,949	64.9
18	23	2041	49,280	2,000	1,314	185	152	49,629	13,411	64.6
19	24	2042	49,629	2,000	1,252	178	154	50,045	12,920	64.4
20	25	2043	50,045	2,000	1,197	172	156	50,520	12,640	64.2
21	26	2044	50,520	2,000	1,148	167	158	51,048	13,526	64.1
22	27	2045	51,048	2,000	1,105	162	160	51,620	13,917	64.0
23	28	2046	51,620	2,000	1,070	159	161	52,231	14,430	64.0
24	29	2047	52,231	2,000	1,041	156	162	52,873	14,981	64.0
25	30	2048	52,873	2,000	1,018	154	162	53,539	15,583	64.0
26	31	2049	53,539	2,000	1,003	152	163	54,220	16,228	64.1
27	32	2050	54,220	2,000	994	152	164	54,911	16,901	64.2
28	33	2051	54,911	2,000	993	152	164	55,602	17,612	64.3
29	34	2052	55,602	2,000	999	153	164	56,286	18,318	64.4
30	35	2053	56,286	2,000	1,009	154	164	56,959	19,040	64.6
31	36	2054	56,959	2,000	1,023	155	165	57,617	19,741	64.7
32	37	2055	57,617	2,000	1,041	157	165	58,254	20,433	64.9
33	38	2056	58,254	2,000	1,063	160	165	58,866	21,106	65.0
34	39	2057	58,866	2,000	1,089	163	165	59,450	21,755	65.2
35	40	2058	59,450	2,000	1,117	166	165	60,002	22,375	65.3
36	41	2059	60,002	2,000	1,147	169	165	60,521	22,962	65.5
37	42	2060	60,521	2,000	1,179	173	165	61,004	23,514	65.6
38	43	2061	61,004	2,000	1,212	177	165	61,451	24,029	65.7
39	44	2062	61,451	2,000	1,245	181	165	61,860	24,505	65.9
40	45	2063	61,860	2,000	1,279	185	165	62,232	24,944	66.0
41	46	2064	62,232	2,000	1,312	189	165	62,566	25,345	66.1
42	47	2065	62,566	2,000	1,344	193	165	62,864	25,710	66.2
43	48	2066	62,864	2,000	1,376	197	165	63,126	26,040	66.3
44	49	2067	63,126	2,000	1,407	201	165	63,354	26,334	66.4
45	50	2068	63,354	2,000	1,436	205	165	63,549	26,596	66.5
46	51	2069	63,549	2,000	1,463	208	165	63,713	26,827	66.6
47	52	2070	63,713	2,000	1,489	211	165	63,848	27,030	66.7
48	53	2071	63,848	2,000	1,512	214	165	63,956	27,205	66.7
49	54	2072	63,956	2,000	1,534	217	165	64,040	27,356	66.8
50	55	2073	64,040	2,000	1,554	220	165	64,102	27,485	66.8

○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

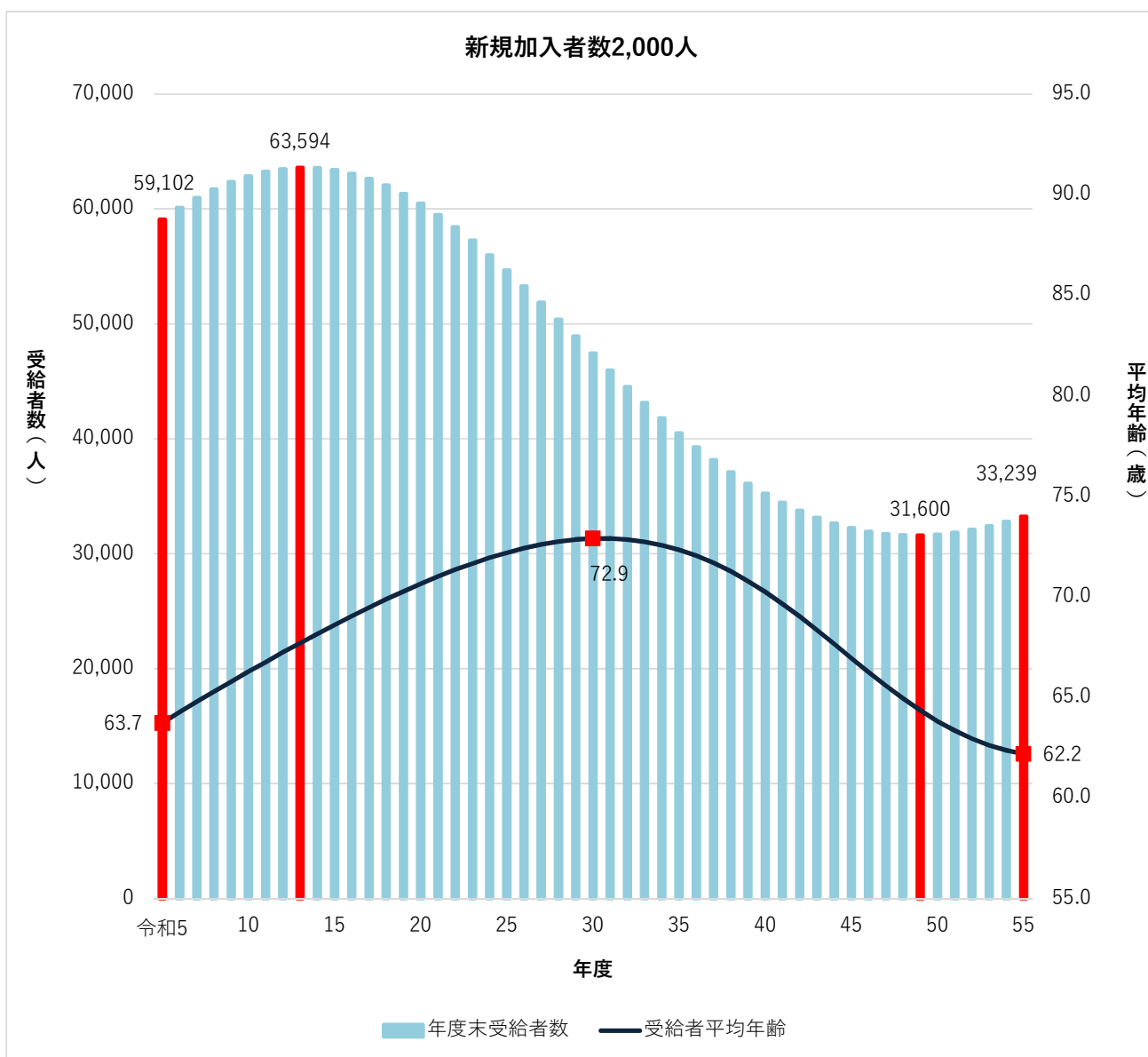
- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（2,000人）を上回る令和18年度まで減少を続けるが、令和18年度末を底に以後は増加を続け、令和32年度末には令和5年度末を超える水準まで回復する。
- ・ 加入者の平均年齢は、令和5年度の74.3歳をピークに、その後は徐々に低下するが、令和28年度の64.0歳以後は、緩やかに上昇する。

(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）

(単位：人、歳、%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	5	2023				59,102	63.7	108.0
1	6	2024	59,102	2,423	1,407	60,118	64.3	111.5
2	7	2025	60,118	2,334	1,482	60,970	64.8	114.7
3	8	2026	60,970	2,304	1,559	61,715	65.3	117.6
4	9	2027	61,715	2,268	1,636	62,346	65.8	120.4
5	10	2028	62,346	2,223	1,714	62,855	66.3	122.8
6	11	2029	62,855	2,170	1,789	63,236	66.8	125.0
7	12	2030	63,236	2,111	1,863	63,484	67.2	126.7
8	13	2031	63,484	2,047	1,936	63,594	67.7	128.1
9	14	2032	63,594	1,976	2,006	63,565	68.2	129.0
10	15	2033	63,565	1,902	2,074	63,393	68.6	129.4
11	16	2034	63,393	1,827	2,140	63,080	69.0	129.3
12	17	2035	63,080	1,751	2,203	62,628	69.5	128.7
13	18	2036	62,628	1,674	2,264	62,038	69.9	127.6
14	19	2037	62,038	1,598	2,321	61,315	70.3	126.0
15	20	2038	61,315	1,523	2,371	60,467	70.7	123.9
16	21	2039	60,467	1,449	2,416	59,500	71.0	121.4
17	22	2040	59,500	1,380	2,455	58,425	71.3	118.6
18	23	2041	58,425	1,314	2,489	57,250	71.7	115.4
19	24	2042	57,250	1,252	2,512	55,990	71.9	111.9
20	25	2043	55,990	1,197	2,528	54,658	72.2	108.2
21	26	2044	54,658	1,148	2,533	53,272	72.4	104.4
22	27	2045	53,272	1,105	2,529	51,849	72.6	100.4
23	28	2046	51,849	1,070	2,527	50,391	72.8	96.5
24	29	2047	50,391	1,041	2,523	48,909	72.9	92.5
25	30	2048	48,909	1,018	2,504	47,423	72.9	88.6
26	31	2049	47,423	1,003	2,472	45,954	72.9	84.8
27	32	2050	45,954	994	2,433	44,515	72.8	81.1
28	33	2051	44,515	993	2,387	43,121	72.7	77.6
29	34	2052	43,121	999	2,339	41,781	72.6	74.2
30	35	2053	41,781	1,009	2,289	40,501	72.3	71.1
31	36	2054	40,501	1,023	2,237	39,287	72.0	68.2
32	37	2055	39,287	1,041	2,179	38,150	71.7	65.5
33	38	2056	38,150	1,063	2,121	37,092	71.3	63.0
34	39	2057	37,092	1,089	2,063	36,118	70.8	60.8
35	40	2058	36,118	1,117	2,003	35,232	70.2	58.7
36	41	2059	35,232	1,147	1,942	34,437	69.7	56.9
37	42	2060	34,437	1,179	1,878	33,738	69.0	55.3
38	43	2061	33,738	1,212	1,817	33,133	68.3	53.9
39	44	2062	33,133	1,245	1,746	32,632	67.7	52.8
40	45	2063	32,632	1,279	1,682	32,228	67.0	51.8
41	46	2064	32,228	1,312	1,623	31,917	66.3	51.0
42	47	2065	31,917	1,344	1,548	31,714	65.6	50.4
43	48	2066	31,714	1,376	1,478	31,611	64.9	50.1
44	49	2067	31,611	1,407	1,417	31,600	64.4	49.9
45	50	2068	31,600	1,436	1,361	31,675	63.8	49.8
46	51	2069	31,675	1,463	1,295	31,843	63.3	50.0
47	52	2070	31,843	1,489	1,244	32,088	62.9	50.3
48	53	2071	32,088	1,512	1,196	32,404	62.6	50.7
49	54	2072	32,404	1,534	1,146	32,792	62.4	51.2
50	55	2073	32,792	1,554	1,107	33,239	62.2	51.9

○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

- ・ 新規裁定者数（新規年金受給者数）は加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度に失権者数を下回るが、令和33年度を底に以後は増加に転じ、令和50年度に失権者数を再び上回る。このため、年金受給者数は令和13年度まで年々増加し、令和13年度末をピークとして、その後は減少を続けるが、令和49年度末を底に再び増加に転じる。
- ・ また、年金受給者数（約5万9千人）が加入者数（約5万5千人）を上回っており、この傾向は令和27年度まで継続する。
- ・ 年金受給者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、令和30年度の72.9歳をピークに以後は緩やかに低下する。

○ 保険収支予測

・ 運用利回り 1.5%（新規加入者数2,000人の場合）

（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
			収入計	保険料	公費負担	運用収入	(保険金、弔慰金、 脱退一時金)		
	令和	西暦							
0	5	2023							98,727
1	6	2024	9,366	3,322	4,600	1,444	8,218	1,148	99,875
2	7	2025	9,646	3,581	4,600	1,465	7,949	1,697	101,572
3	8	2026	9,894	3,800	4,600	1,493	7,845	2,049	103,621
4	9	2027	10,147	4,020	4,600	1,526	7,760	2,386	106,008
5	10	2028	10,343	4,179	4,600	1,564	7,641	2,701	108,709
6	11	2029	9,044	4,337	3,100	1,607	7,489	1,555	110,264
7	12	2030	6,223	4,590	0	1,633	7,341	-1,118	109,147
8	13	2031	6,492	4,872	0	1,620	7,164	-672	108,475
9	14	2032	6,768	5,155	0	1,613	6,988	-220	108,255
10	15	2033	7,050	5,436	0	1,614	6,793	257	108,513
11	16	2034	7,335	5,714	0	1,621	6,593	742	109,255
12	17	2035	7,631	5,995	0	1,636	6,414	1,217	110,472
13	18	2036	7,923	6,266	0	1,657	6,214	1,709	112,181
14	19	2037	8,213	6,526	0	1,686	6,029	2,183	114,364
15	20	2038	8,483	6,761	0	1,722	5,846	2,637	117,001
16	21	2039	8,724	6,960	0	1,765	5,675	3,049	120,050
17	22	2040	8,956	7,143	0	1,813	5,519	3,437	123,487
18	23	2041	9,188	7,321	0	1,867	5,387	3,801	127,288
19	24	2042	9,424	7,498	0	1,926	5,246	4,178	131,466
20	25	2043	9,652	7,662	0	1,991	5,149	4,503	135,969
21	26	2044	9,641	7,583	0	2,058	5,073	4,568	140,537
22	27	2045	9,682	7,555	0	2,127	5,029	4,653	145,190
23	28	2046	9,780	7,583	0	2,197	5,003	4,776	149,967
24	29	2047	9,872	7,603	0	2,269	5,011	4,861	154,828
25	30	2048	9,963	7,621	0	2,342	5,043	4,920	159,748
26	31	2049	10,051	7,636	0	2,415	5,100	4,951	164,698
27	32	2050	10,136	7,647	0	2,489	5,168	4,968	169,666
28	33	2051	10,218	7,655	0	2,563	5,271	4,947	174,613
29	34	2052	10,296	7,660	0	2,636	5,386	4,910	179,523
30	35	2053	10,372	7,664	0	2,709	5,527	4,846	184,369
31	36	2054	10,446	7,666	0	2,780	5,670	4,776	189,144
32	37	2055	10,519	7,668	0	2,851	5,804	4,714	193,859
33	38	2056	10,589	7,669	0	2,921	5,948	4,641	198,500
34	39	2057	10,658	7,669	0	2,989	6,106	4,552	203,052
35	40	2058	10,725	7,669	0	3,056	6,268	4,457	207,509
36	41	2059	10,791	7,669	0	3,122	6,441	4,350	211,859
37	42	2060	10,855	7,669	0	3,186	6,624	4,231	216,090
38	43	2061	10,917	7,669	0	3,248	6,802	4,115	220,205
39	44	2062	10,977	7,669	0	3,308	6,986	3,991	224,195
40	45	2063	11,035	7,669	0	3,367	7,168	3,867	228,062
41	46	2064	11,092	7,669	0	3,423	7,347	3,745	231,807
42	47	2065	11,147	7,669	0	3,478	7,521	3,626	235,434
43	48	2066	11,200	7,669	0	3,531	7,687	3,513	238,946
44	49	2067	11,252	7,669	0	3,583	7,847	3,405	242,351
45	50	2068	11,302	7,669	0	3,633	7,998	3,304	245,655
46	51	2069	11,350	7,669	0	3,681	8,139	3,211	248,866
47	52	2070	11,397	7,669	0	3,729	8,269	3,129	251,995
48	53	2071	11,443	7,669	0	3,775	8,388	3,055	255,050
49	54	2072	11,488	7,669	0	3,820	8,497	2,991	258,041
50	55	2073	11,532	7,669	0	3,864	8,595	2,938	260,979

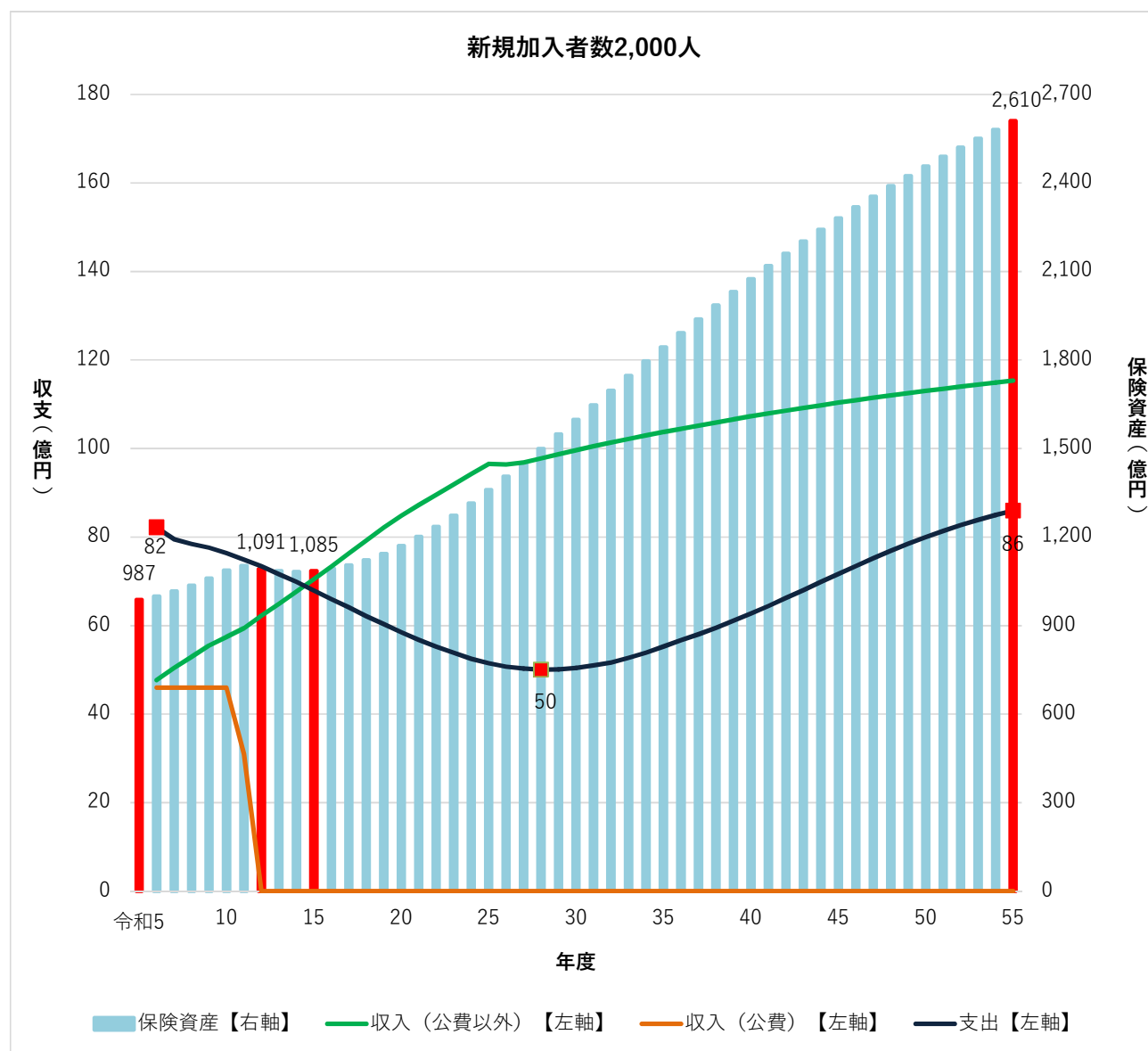
○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>

R 4 ～R 1 0 : 4 6 億円

R 1 1 : 3 1 億円

R 1 2 ～ : (なし)



概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ね増加傾向となる。
- ・ 支出（保険金、弔慰金及び脱退一時金）は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和28年度まで減少を続けるが、その後は増加し続ける。
- ・ 保険資産は収支差に連動し、公費負担終了後の令和12年度から14年度まで一時的に減少するが、1,000人推計よりも6年早い令和15年度からは再び増加に転じる。

○ 年金収支予測

・ 運用利回り 1.5%（新規加入者数2,000人の場合）

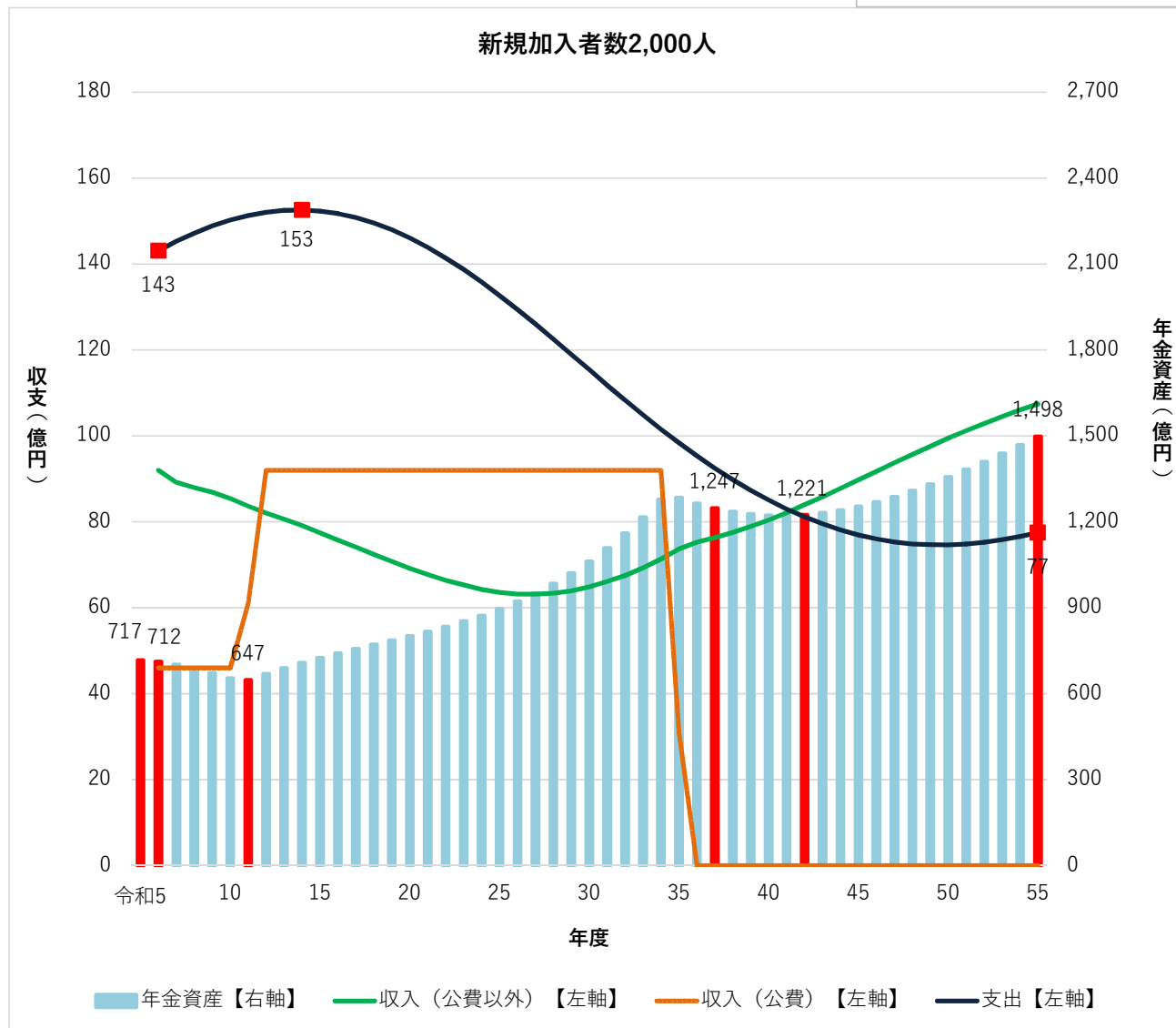
（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	5	2023							71,683
1	6	2024	13,796	8,167	4,600	1,029	14,306	-510	71,173
2	7	2025	13,517	7,899	4,600	1,018	14,531	-1,014	70,159
3	8	2026	13,396	7,795	4,600	1,001	14,722	-1,327	68,833
4	9	2027	13,290	7,712	4,600	979	14,887	-1,597	67,236
5	10	2028	13,146	7,593	4,600	953	15,024	-1,878	65,358
6	11	2029	14,464	7,441	6,100	923	15,130	-667	64,691
7	12	2030	17,404	7,293	9,200	911	15,206	2,199	66,890
8	13	2031	17,259	7,117	9,200	943	15,248	2,011	68,901
9	14	2032	17,114	6,943	9,200	971	15,258	1,856	70,757
10	15	2033	16,946	6,748	9,200	998	15,233	1,713	72,470
11	16	2034	16,772	6,550	9,200	1,023	15,174	1,598	74,067
12	17	2035	16,617	6,371	9,200	1,046	15,082	1,535	75,602
13	18	2036	16,441	6,172	9,200	1,068	14,956	1,484	77,086
14	19	2037	16,279	5,988	9,200	1,090	14,798	1,481	78,567
15	20	2038	16,119	5,806	9,200	1,113	14,609	1,510	80,077
16	21	2039	15,972	5,636	9,200	1,136	14,390	1,581	81,658
17	22	2040	15,841	5,481	9,200	1,160	14,144	1,697	83,355
18	23	2041	15,736	5,349	9,200	1,187	13,873	1,863	85,218
19	24	2042	15,624	5,209	9,200	1,216	13,580	2,045	87,262
20	25	2043	15,560	5,112	9,200	1,248	13,267	2,293	89,555
21	26	2044	15,520	5,036	9,200	1,284	12,940	2,580	92,136
22	27	2045	15,517	4,992	9,200	1,325	12,601	2,916	95,052
23	28	2046	15,537	4,966	9,200	1,371	12,253	3,284	98,335
24	29	2047	15,596	4,973	9,200	1,423	11,898	3,698	102,033
25	30	2048	15,687	5,005	9,200	1,482	11,540	4,147	106,180
26	31	2049	15,808	5,061	9,200	1,547	11,183	4,626	110,806
27	32	2050	15,949	5,129	9,200	1,619	10,831	5,118	115,924
28	33	2051	16,131	5,232	9,200	1,700	10,488	5,643	121,567
29	34	2052	16,334	5,346	9,200	1,788	10,157	6,177	127,744
30	35	2053	10,469	5,486	3,100	1,884	9,839	631	128,375
31	36	2054	7,525	5,629	0	1,896	9,535	-2,010	126,364
32	37	2055	7,631	5,762	0	1,869	9,249	-1,618	124,747
33	38	2056	7,753	5,905	0	1,848	8,981	-1,228	123,518
34	39	2057	7,895	6,062	0	1,833	8,732	-837	122,681
35	40	2058	8,046	6,223	0	1,823	8,504	-458	122,223
36	41	2059	8,214	6,395	0	1,819	8,296	-82	122,141
37	42	2060	8,397	6,576	0	1,821	8,111	286	122,427
38	43	2061	8,581	6,753	0	1,827	7,948	633	123,059
39	44	2062	8,776	6,937	0	1,839	7,809	967	124,027
40	45	2063	8,974	7,118	0	1,856	7,693	1,281	125,307
41	46	2064	9,172	7,295	0	1,877	7,600	1,572	126,879
42	47	2065	9,371	7,468	0	1,903	7,531	1,840	128,719
43	48	2066	9,565	7,633	0	1,932	7,486	2,079	130,798
44	49	2067	9,756	7,792	0	1,964	7,464	2,292	133,091
45	50	2068	9,942	7,942	0	2,000	7,463	2,478	135,569
46	51	2069	10,120	8,082	0	2,038	7,484	2,636	138,205
47	52	2070	10,289	8,211	0	2,078	7,524	2,765	140,970
48	53	2071	10,450	8,330	0	2,120	7,583	2,867	143,837
49	54	2072	10,601	8,438	0	2,163	7,658	2,943	146,781
50	55	2073	10,743	8,535	0	2,208	7,749	2,994	149,774

○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>

R 5 ～ R 1 0 : 4 6 億円
R 1 1 : 6 1 億円
R 1 2 ～ R 3 4 : 9 2 億円
R 3 5 : 3 1 億円
R 3 6 ～ : (なし)



概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和28年度までは減少するが、加入者死亡数の底（令和33年度）に近づく令和29年度以降は増加する。
- ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和14年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
- ・ 年金資産は収支差に連動し、令和6年度から11年度では減少するが、公費投入額が増加する令和12年度から35年度の間は増加する。

その後、公費の投入が令和35年度で終了するため、収支差がマイナスとなることから、令和36年度から41年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、年金資産全体から見ると、僅かな減少に留まる。

参考 2

現在加入者のみの場合

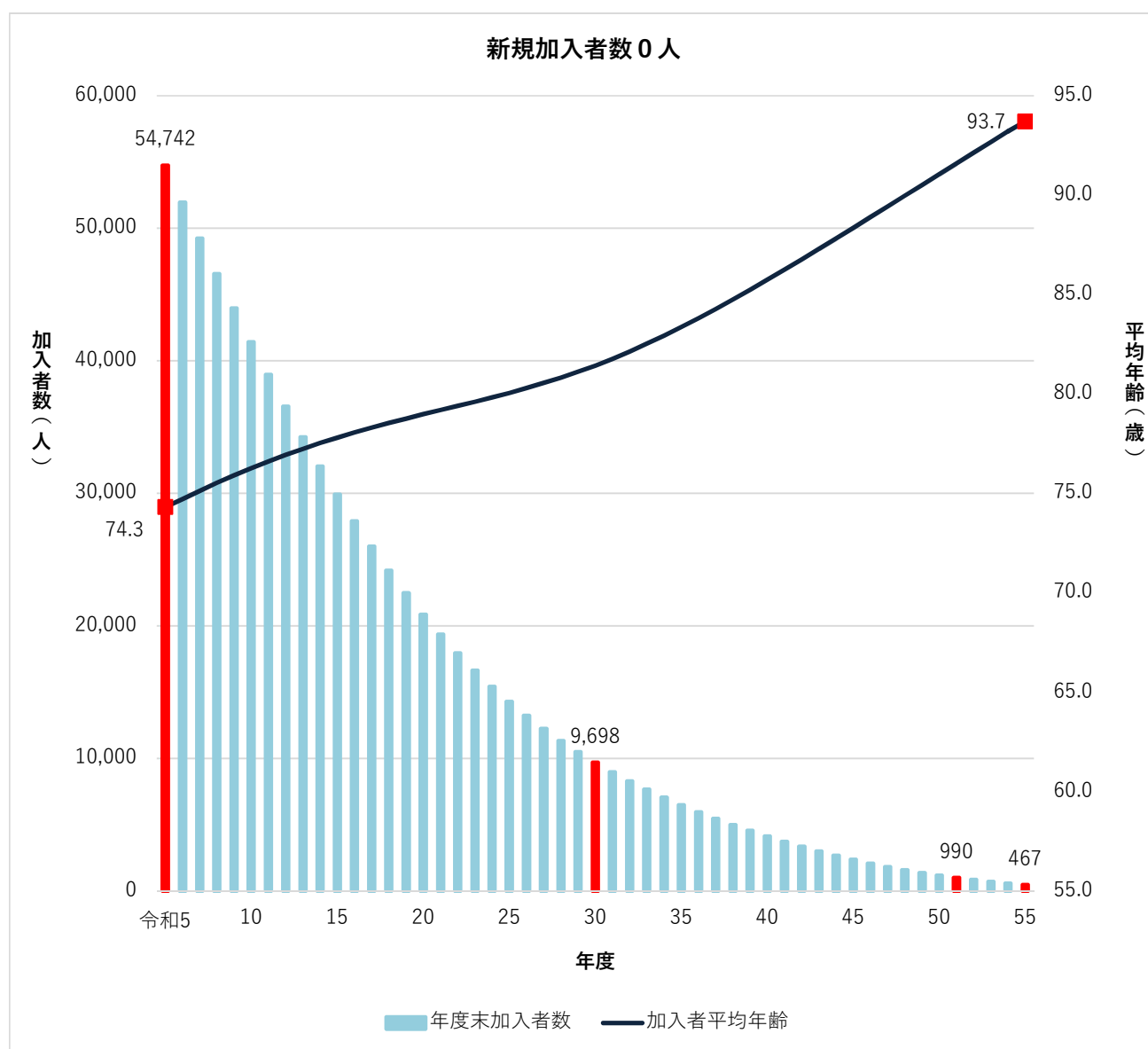
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移（現在加入者のみの場合）

（単位：人、歳）

年次	年度		年 度 始 加入者数	新 規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年 度 末 加入者数	保 険 料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	5	2023						54,742	36,413	74.3
1	6	2024	54,742	0	2,419	329	65	51,929	34,624	74.7
2	7	2025	51,929	0	2,327	319	60	49,222	33,237	75.1
3	8	2026	49,222	0	2,292	311	56	46,562	31,818	75.5
4	9	2027	46,562	0	2,251	303	52	43,956	30,458	75.9
5	10	2028	43,956	0	2,201	293	48	41,413	29,992	76.3
6	11	2029	41,413	0	2,143	283	44	38,943	28,425	76.6
7	12	2030	38,943	0	2,079	272	41	36,551	26,638	76.9
8	13	2031	36,551	0	2,007	261	37	34,245	24,934	77.2
9	14	2032	34,245	0	1,929	249	34	32,032	23,241	77.5
10	15	2033	32,032	0	1,848	237	31	29,916	21,691	77.8
11	16	2034	29,916	0	1,764	225	28	27,900	20,165	78.1
12	17	2035	27,900	0	1,679	212	25	25,984	18,693	78.3
13	18	2036	25,984	0	1,591	200	23	24,171	17,418	78.5
14	19	2037	24,171	0	1,504	187	20	22,460	17,418	78.8
15	20	2038	22,460	0	1,416	175	17	20,852	15,313	79.0
16	21	2039	20,852	0	1,329	163	14	19,346	14,572	79.2
17	22	2040	19,346	0	1,244	152	12	17,937	13,949	79.4
18	23	2041	17,937	0	1,162	141	10	16,624	13,411	79.6
19	24	2042	16,624	0	1,082	131	8	15,402	12,920	79.8
20	25	2043	15,402	0	1,007	121	7	14,267	12,640	80.1
21	26	2044	14,267	0	937	112	5	13,214	12,404	80.3
22	27	2045	13,214	0	871	103	4	12,235	11,587	80.5
23	28	2046	12,235	0	811	95	3	11,326	10,843	80.8
24	29	2047	11,326	0	754	88	3	10,482	10,132	81.1
25	30	2048	10,482	0	702	81	2	9,698	9,482	81.4
26	31	2049	9,698	0	654	75	1	8,967	8,827	81.8
27	32	2050	8,967	0	611	70	1	8,286	8,182	82.1
28	33	2051	8,286	0	574	65	1	7,647	7,578	82.5
29	34	2052	7,647	0	541	60	0	7,047	6,994	82.9
30	35	2053	7,047	0	509	56	0	6,482	6,463	83.4
31	36	2054	6,482	0	479	52	0	5,950	5,940	83.8
32	37	2055	5,950	0	452	48	0	5,450	5,444	84.3
33	38	2056	5,450	0	426	45	0	4,979	4,974	84.7
34	39	2057	4,979	0	403	42	0	4,534	4,530	85.2
35	40	2058	4,534	0	381	39	0	4,114	4,111	85.7
36	41	2059	4,114	0	359	37	0	3,719	3,716	86.3
37	42	2060	3,719	0	338	34	0	3,346	3,346	86.8
38	43	2061	3,346	0	317	32	0	2,997	2,997	87.3
39	44	2062	2,997	0	297	30	0	2,670	2,670	87.8
40	45	2063	2,670	0	277	28	0	2,365	2,365	88.4
41	46	2064	2,365	0	257	26	0	2,082	2,082	88.9
42	47	2065	2,082	0	237	24	0	1,822	1,822	89.4
43	48	2066	1,822	0	218	22	0	1,582	1,582	90.0
44	49	2067	1,582	0	199	20	0	1,364	1,364	90.5
45	50	2068	1,364	0	180	18	0	1,167	1,167	91.1
46	51	2069	1,167	0	161	16	0	990	990	91.6
47	52	2070	990	0	144	14	0	832	832	92.1
48	53	2071	832	0	127	12	0	693	693	92.7
49	54	2072	693	0	111	11	0	571	571	93.2
50	55	2073	571	0	96	9	0	467	467	93.7

○ 加入者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

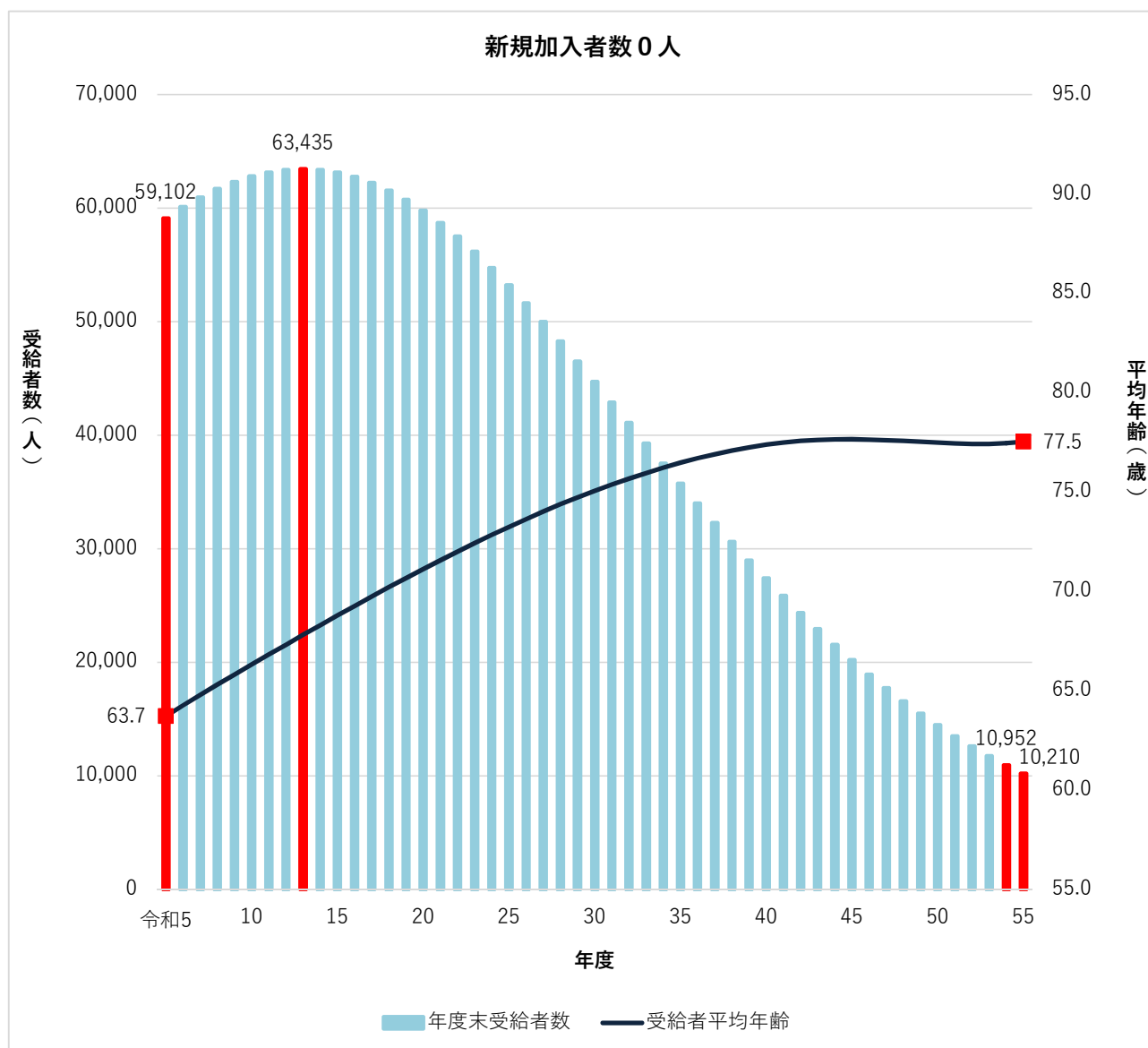
- ・ 新規加入者がいないことから、加入者数の減少速度が速く、令和30年度末には加入者が1万人を割り込み、令和51年度末には1千人を割り込む。
- ・ 平均年齢は、新規加入者がいないことから上昇し続ける。

(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合）

(単位：人、歳、%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	5	2023				59,102	63.7	108.0
1	6	2024	59,102	2,419	1,407	60,115	64.3	115.8
2	7	2025	60,115	2,327	1,482	60,959	64.8	123.8
3	8	2026	60,959	2,292	1,559	61,692	65.3	132.5
4	9	2027	61,692	2,251	1,636	62,307	65.8	141.7
5	10	2028	62,307	2,201	1,714	62,795	66.3	151.6
6	11	2029	62,795	2,143	1,789	63,148	66.8	162.2
7	12	2030	63,148	2,079	1,863	63,364	67.3	173.4
8	13	2031	63,364	2,007	1,936	63,435	67.8	185.2
9	14	2032	63,435	1,929	2,006	63,358	68.3	197.8
10	15	2033	63,358	1,848	2,073	63,133	68.8	211.0
11	16	2034	63,133	1,764	2,140	62,756	69.3	224.9
12	17	2035	62,756	1,679	2,203	62,232	69.7	239.5
13	18	2036	62,232	1,591	2,264	61,560	70.2	254.7
14	19	2037	61,560	1,504	2,321	60,743	70.7	270.4
15	20	2038	60,743	1,416	2,370	59,789	71.1	286.7
16	21	2039	59,789	1,329	2,415	58,702	71.6	303.4
17	22	2040	58,702	1,244	2,454	57,493	72.0	320.5
18	23	2041	57,493	1,162	2,487	56,168	72.4	337.9
19	24	2042	56,168	1,082	2,510	54,740	72.8	355.4
20	25	2043	54,740	1,007	2,525	53,221	73.2	373.0
21	26	2044	53,221	937	2,530	51,628	73.6	390.7
22	27	2045	51,628	871	2,525	49,973	74.0	408.4
23	28	2046	49,973	811	2,523	48,261	74.4	426.1
24	29	2047	48,261	754	2,517	46,497	74.7	443.6
25	30	2048	46,497	702	2,497	44,701	75.1	461.0
26	31	2049	44,701	654	2,464	42,892	75.4	478.3
27	32	2050	42,892	611	2,423	41,080	75.7	495.8
28	33	2051	41,080	574	2,375	39,278	76.0	513.6
29	34	2052	39,278	541	2,325	37,493	76.2	532.1
30	35	2053	37,493	509	2,274	35,728	76.5	551.2
31	36	2054	35,728	479	2,218	33,990	76.7	571.2
32	37	2055	33,990	452	2,156	32,285	76.9	592.3
33	38	2056	32,285	426	2,095	30,616	77.1	614.9
34	39	2057	30,616	403	2,032	28,987	77.2	639.3
35	40	2058	28,987	381	1,967	27,401	77.4	666.0
36	41	2059	27,401	359	1,900	25,860	77.5	695.4
37	42	2060	25,860	338	1,829	24,368	77.6	728.2
38	43	2061	24,368	317	1,760	22,926	77.6	765.0
39	44	2062	22,926	297	1,680	21,544	77.6	806.9
40	45	2063	21,544	277	1,605	20,215	77.7	854.7
41	46	2064	20,215	257	1,534	18,938	77.6	909.4
42	47	2065	18,938	237	1,446	17,730	77.6	973.3
43	48	2066	17,730	218	1,362	16,586	77.6	1,048.2
44	49	2067	16,586	199	1,284	15,500	77.5	1,136.2
45	50	2068	15,500	180	1,210	14,470	77.5	1,240.2
46	51	2069	14,470	161	1,124	13,507	77.4	1,364.9
47	52	2070	13,507	144	1,051	12,599	77.4	1,514.5
48	53	2071	12,599	127	980	11,746	77.4	1,695.2
49	54	2072	11,746	111	904	10,952	77.5	1,916.4
50	55	2073	10,952	96	838	10,210	77.5	2,188.6

○ 受給者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、年次が進むごとに新規裁定者数の減少幅が大きくなり、受給者数は、令和 5 4 年度末に 1, 0 0 0 人推計の約半分(1. 1 万人)となる。
- ・ 平均年齢は上昇し続け、令和 4 4 年度以降はほぼ横ばいで推移する。

○ 保険収支予測

・運用利回り 1.5%（現在加入者のみの場合）

（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入	（保険金、弔慰金、脱退一時金）		
0	5	2023							98,727
1	6	2024	8,964	2,923	4,600	1,442	8,187	777	99,504
2	7	2025	8,840	2,786	4,600	1,454	7,886	955	100,459
3	8	2026	8,681	2,613	4,600	1,469	7,746	936	101,394
4	9	2027	8,526	2,444	4,600	1,482	7,623	902	102,297
5	10	2028	8,311	2,216	4,600	1,495	7,463	848	103,145
6	11	2029	6,600	1,992	3,100	1,508	7,266	-666	102,478
7	12	2030	3,363	1,865	0	1,498	7,069	-3,705	98,773
8	13	2031	3,215	1,771	0	1,444	6,839	-3,624	95,149
9	14	2032	3,072	1,682	0	1,390	6,607	-3,535	91,614
10	15	2033	2,933	1,594	0	1,339	6,350	-3,417	88,197
11	16	2034	2,796	1,508	0	1,289	6,085	-3,289	84,908
12	17	2035	2,668	1,427	0	1,241	5,834	-3,166	81,742
13	18	2036	2,535	1,340	0	1,195	5,557	-3,022	78,720
14	19	2037	2,398	1,247	0	1,151	5,288	-2,890	75,830
15	20	2038	2,242	1,133	0	1,108	5,015	-2,773	73,058
16	21	2039	2,055	987	0	1,068	4,745	-2,690	70,367
17	22	2040	1,859	831	0	1,028	4,484	-2,624	67,743
18	23	2041	1,664	674	0	990	4,238	-2,574	65,169
19	24	2042	1,473	521	0	952	3,974	-2,501	62,668
20	25	2043	1,275	361	0	915	3,744	-2,469	60,200
21	26	2044	1,069	191	0	878	3,523	-2,454	57,746
22	27	2045	939	97	0	842	3,324	-2,385	55,361
23	28	2046	881	73	0	808	3,131	-2,250	53,111
24	29	2047	828	53	0	775	2,958	-2,130	50,980
25	30	2048	779	35	0	744	2,801	-2,022	48,958
26	31	2049	736	21	0	715	2,657	-1,922	47,036
27	32	2050	701	14	0	687	2,515	-1,814	45,222
28	33	2051	670	10	0	661	2,395	-1,725	43,497
29	34	2052	642	7	0	635	2,280	-1,638	41,860
30	35	2053	616	4	0	612	2,182	-1,567	40,293
31	36	2054	590	2	0	589	2,081	-1,491	38,802
32	37	2055	568	1	0	567	1,965	-1,397	37,406
33	38	2056	548	1	0	547	1,856	-1,308	36,097
34	39	2057	529	1	0	528	1,762	-1,233	34,864
35	40	2058	511	0	0	511	1,667	-1,156	33,708
36	41	2059	494	0	0	494	1,582	-1,088	32,620
37	42	2060	478	0	0	478	1,504	-1,026	31,594
38	43	2061	463	0	0	463	1,420	-957	30,638
39	44	2062	450	0	0	450	1,342	-892	29,745
40	45	2063	437	0	0	437	1,263	-826	28,919
41	46	2064	425	0	0	425	1,183	-758	28,161
42	47	2065	414	0	0	414	1,101	-687	27,474
43	48	2066	405	0	0	405	1,018	-614	26,860
44	49	2067	396	0	0	396	936	-540	26,320
45	50	2068	388	0	0	388	854	-466	25,854
46	51	2069	382	0	0	382	772	-390	25,464
47	52	2070	377	0	0	377	691	-314	25,150
48	53	2071	373	0	0	373	613	-241	24,910
49	54	2072	370	0	0	370	538	-169	24,741
50	55	2073	368	0	0	368	468	-100	24,640

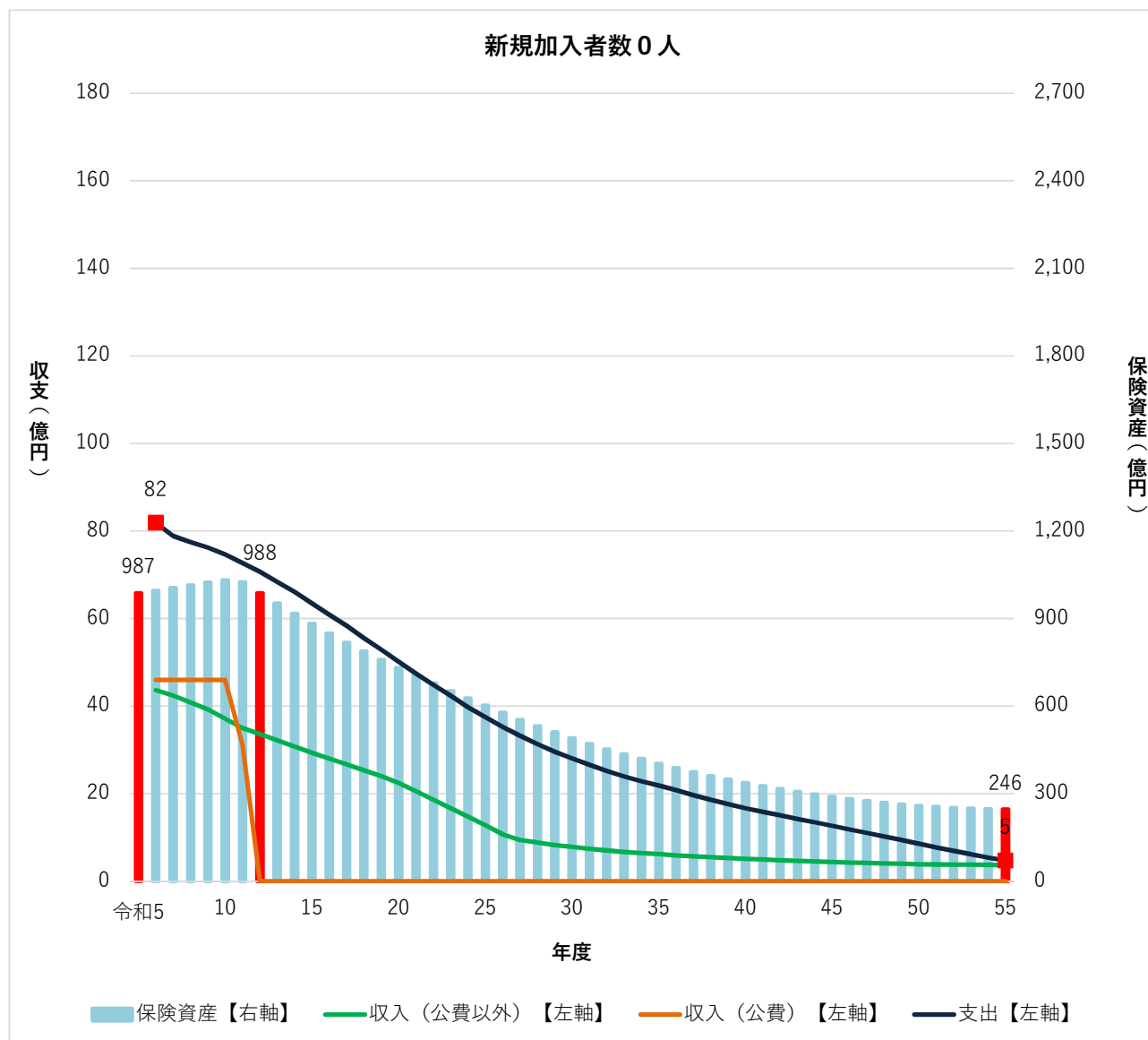
○ 保険収支と保険資産の推移（現在加入者のみの場合）

<公費>

R 3 ～R 1 0 : 4 6 億円

R 1 1 : 3 1 億円

R 1 2 ～ : (なし)



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、新規加入者がいないため、保険料収入は年々減少を続ける。
- ・ 支出も同様に減少を続ける。
- ・ 収支差はほぼマイナスとなり、資産を取り崩し続けることになる。

○ 年金収支予測

・運用利回り 1.5%（現在加入者のみの場合）

（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	5	2023						0	71,683
1	6	2024	13,765	8,136	4,600	1,029	14,306	-541	71,143
2	7	2025	13,452	7,835	4,600	1,017	14,529	-1,076	70,066
3	8	2026	13,295	7,696	4,600	999	14,718	-1,423	68,643
4	9	2027	13,150	7,575	4,600	975	14,880	-1,730	66,913
5	10	2028	12,962	7,415	4,600	947	15,012	-2,050	64,862
6	11	2029	14,233	7,219	6,100	914	15,113	-880	63,982
7	12	2030	17,122	7,024	9,200	899	15,181	1,941	65,923
8	13	2031	16,922	6,796	9,200	926	15,216	1,706	67,629
9	14	2032	16,715	6,565	9,200	950	15,215	1,500	69,129
10	15	2033	16,481	6,311	9,200	971	15,179	1,302	70,431
11	16	2034	16,236	6,047	9,200	989	15,107	1,129	71,560
12	17	2035	16,003	5,798	9,200	1,005	14,999	1,004	72,564
13	18	2036	15,742	5,523	9,200	1,019	14,855	887	73,451
14	19	2037	15,488	5,256	9,200	1,031	14,676	811	74,263
15	20	2038	15,228	4,985	9,200	1,043	14,464	764	75,027
16	21	2039	14,972	4,718	9,200	1,054	14,219	753	75,780
17	22	2040	14,723	4,458	9,200	1,066	13,943	780	76,560
18	23	2041	14,491	4,213	9,200	1,078	13,639	852	77,412
19	24	2042	14,242	3,951	9,200	1,091	13,309	933	78,345
20	25	2043	14,028	3,722	9,200	1,106	12,955	1,073	79,418
21	26	2044	13,826	3,503	9,200	1,123	12,582	1,245	80,662
22	27	2045	13,648	3,305	9,200	1,144	12,192	1,456	82,119
23	28	2046	13,480	3,113	9,200	1,167	11,788	1,692	83,811
24	29	2047	13,336	2,942	9,200	1,194	11,371	1,965	85,776
25	30	2048	13,212	2,786	9,200	1,226	10,944	2,268	88,044
26	31	2049	13,105	2,643	9,200	1,262	10,511	2,594	90,638
27	32	2050	13,005	2,502	9,200	1,303	10,077	2,928	93,567
28	33	2051	12,932	2,383	9,200	1,349	9,643	3,289	96,856
29	34	2052	12,869	2,268	9,200	1,401	9,212	3,657	100,513
30	35	2053	6,730	2,171	3,100	1,458	8,787	-2,057	98,456
31	36	2054	3,501	2,071	0	1,430	8,366	-4,865	93,591
32	37	2055	3,314	1,955	0	1,359	7,953	-4,639	88,952
33	38	2056	3,139	1,847	0	1,292	7,548	-4,409	84,543
34	39	2057	2,981	1,753	0	1,228	7,152	-4,171	80,372
35	40	2058	2,827	1,659	0	1,167	6,767	-3,940	76,432
36	41	2059	2,685	1,574	0	1,110	6,391	-3,707	72,725
37	42	2060	2,554	1,497	0	1,057	6,027	-3,473	69,252
38	43	2061	2,420	1,413	0	1,007	5,675	-3,255	65,997
39	44	2062	2,296	1,336	0	960	5,336	-3,041	62,956
40	45	2063	2,173	1,257	0	916	5,011	-2,838	60,118
41	46	2064	2,052	1,177	0	875	4,698	-2,646	57,472
42	47	2065	1,933	1,096	0	837	4,400	-2,467	55,005
43	48	2066	1,815	1,014	0	802	4,118	-2,302	52,703
44	49	2067	1,701	932	0	769	3,850	-2,150	50,553
45	50	2068	1,588	850	0	738	3,596	-2,009	48,544
46	51	2069	1,477	768	0	709	3,357	-1,880	46,664
47	52	2070	1,370	688	0	682	3,133	-1,763	44,901
48	53	2071	1,267	610	0	656	2,921	-1,655	43,246
49	54	2072	1,168	536	0	632	2,724	-1,555	41,691
50	55	2073	1,075	466	0	610	2,539	-1,464	40,227

○ 年金収支と年金資産の推移（現在加入者のみの場合）

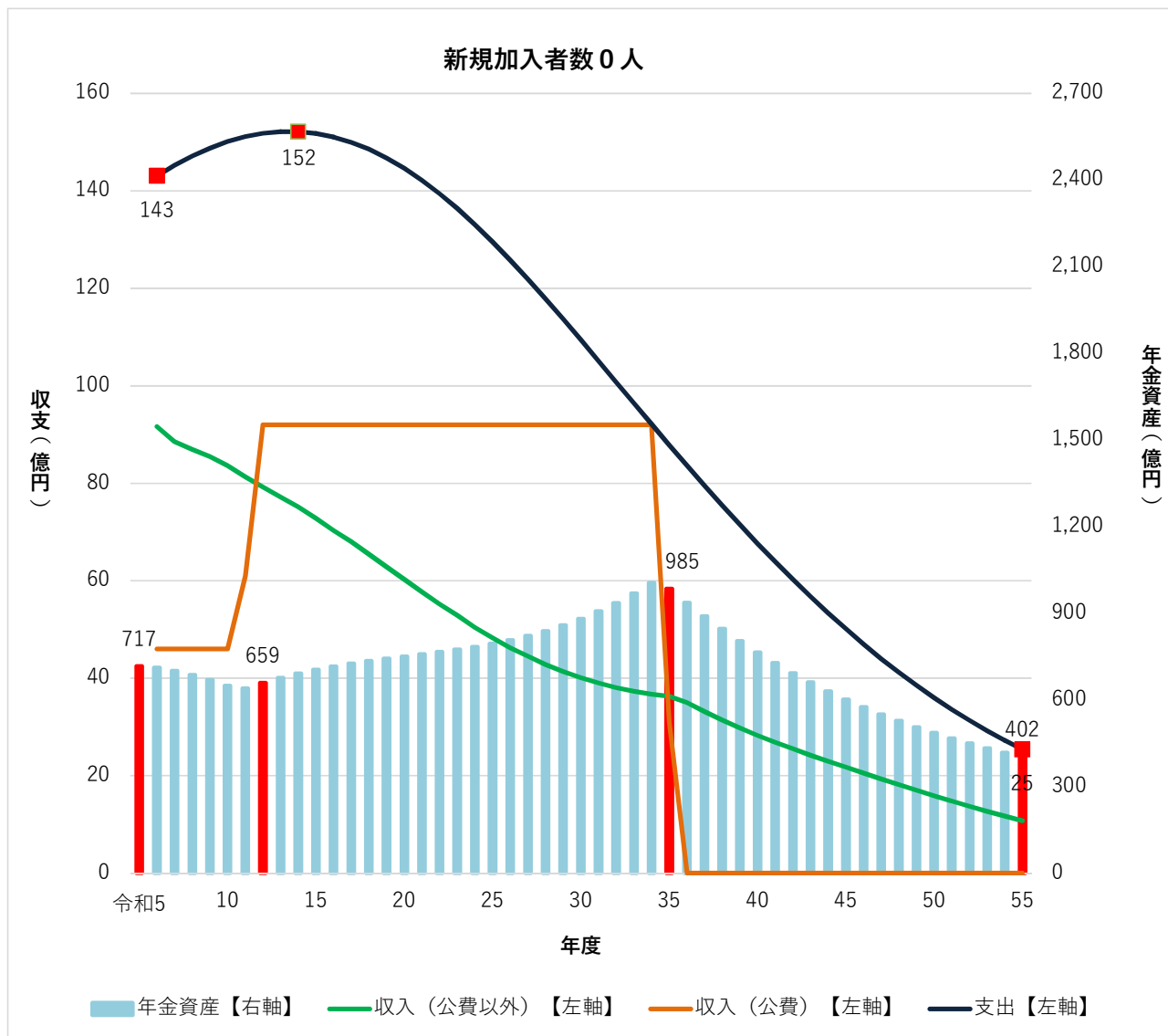
<公費>

R 5 ～ R 1 0 : 4 6 億円

R 1 1 : 6 1 億円

R 1 2 ～ R 3 4 : 9 2 億円

R 3 5 : 3 1 億円

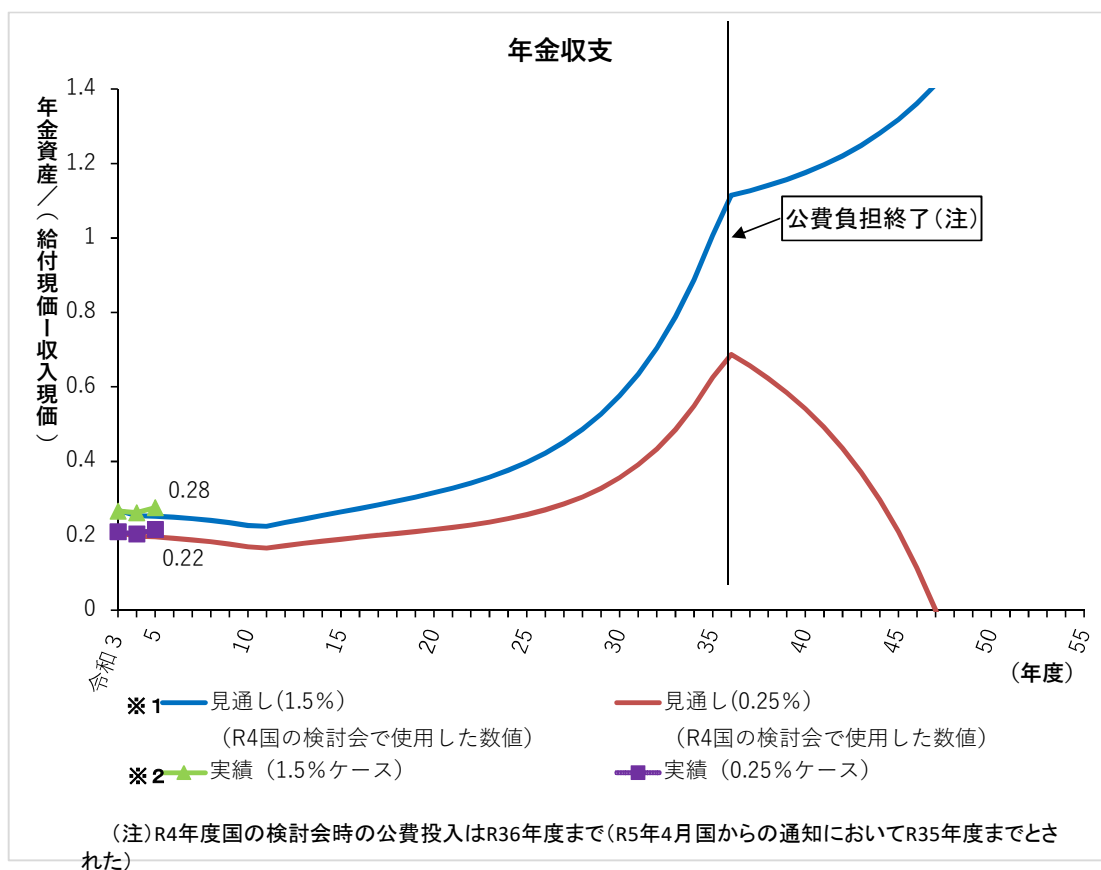
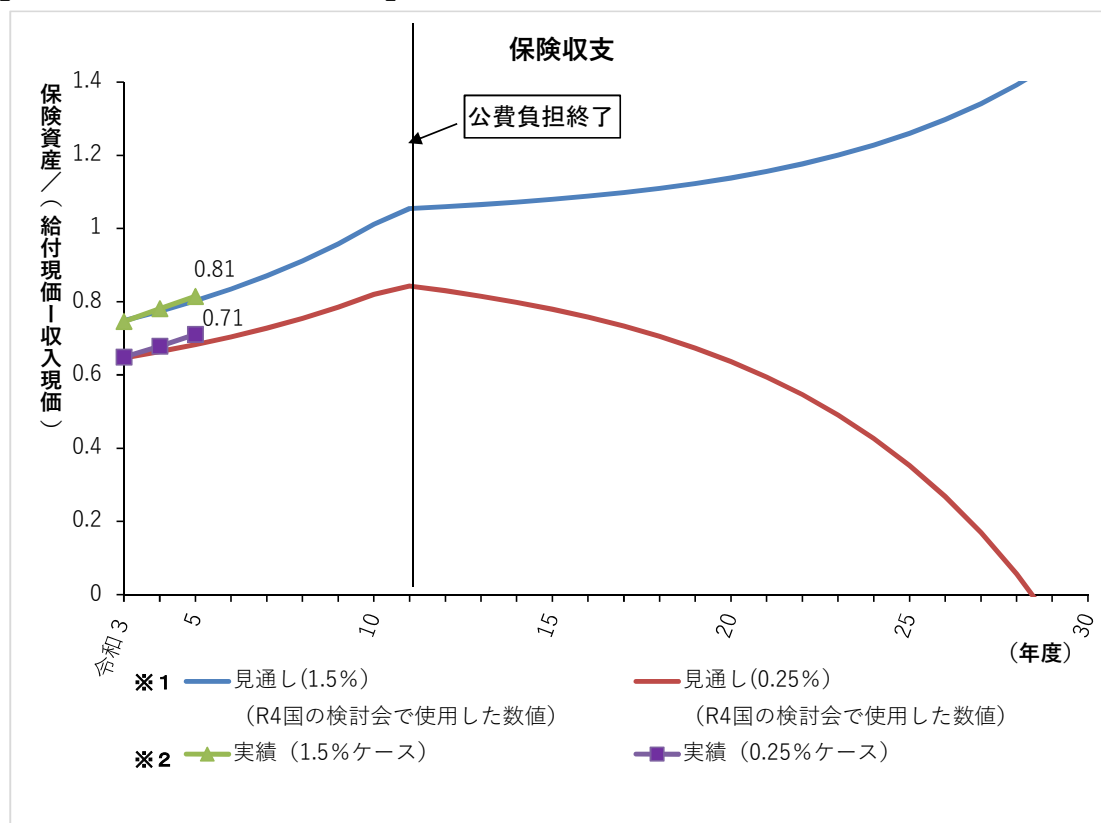


概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、保険金収入は年々減少を続ける。
- ・ 収支差は、公費が増額となる令和12年度以降プラスとなるが、公費が終了する令和35年度以降はマイナスとなり、資産を取り崩し続けることとなる。

5 積立比率について

【平成19年度以前加入者分】



【平成19年度以前加入者分】

※1 将来見通し

グラフ中における各線については、令和4年度の国の見直しの検討において用いられた基礎数値に基づき示された将来見通しのうち、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースである。

[運用利回り 1.5 % ケース]

国の将来見通し(令和5年度)：保険収支：0.80 年金収支：0.25

[運用利回り 0.25 % ケース (参考)]

国の将来見通し(令和5年度)：保険収支：0.68 年金収支：0.20

※2 実績

各実績については、本推計の基礎数値を用いて、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースで算出したもの。

[運用利回り 1.5 % ケース]

令和5年度実績：保険収支：0.81 年金収支：0.28

[運用利回り 0.25 % ケース (参考)]

令和5年度実績：保険収支：0.71 年金収支：0.22

【平成20年度以降加入者分】

[運用利回り 1.5 % ケース]

令和5年度実績：保険収支：1.20 年金収支：1.06

[運用利回り 0.25 % ケース (参考)]

令和5年度実績：保険収支：0.97 年金収支：0.81

【結論】

平成19年度以前加入者分については、公費投入期間中であることから保険収支、年金収支ともに「1」を割っているものの、令和5年度における実績値は、国の将来見通を上回っている。

また、平成20年度以降加入者分については、1.5%ケースにおいて保険収支、年金収支ともに積立比率が「1」を上回っている。

6 責任準備金について（令和５年度末現在）

（単位：百万円）

		令和４年度	令和５年度	増減
①	年金の現価相当額 〔受給者分〕	228,583	226,303	△ 2,280
②	公費負担現価 〔受給者分〕	159,073	159,997	925
③	責任準備金の額（①－②）	69,510	66,306	△ 3,204
④	年金資産額	69,425	71,683	2,258
⑤	繰越剰余（欠損）金（④－③）	△ 85	5,377	5,462

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 予定利率は、１．５％である。

（単位：百万円）

	令和 4 年度	令和 5 年度	増減
⑥ 公費負担現価の総額	193, 899	192, 208	△ 1, 692
⑦ 公費負担現価 [加入者分(※2)]	34, 827	32, 211	△ 2, 616
② 公費負担現価 [受給者分(※1)] (⑥－⑦)	159, 073	159, 997	925

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

（※１）受給者分とは、当該年度末における受給者のうち、平成１９年度以前加入口に係るものである。

（※２）加入者分とは、当該年度末における加入者のうち、平成１９年度以前加入口に係るものである。

（公費負担現価〔加入者分〕の算定）

（単位：百万円）

	令和 4 年度	令和 5 年度	増減
⑧ 年金の現価相当額 〔加入者分〕	151, 070	142, 282	△ 8, 788
⑨ 保険金現価	116, 243	110, 071	△ 6, 172
⑦ 公費負担現価 〔加入者分〕 (⑧－⑨)	34, 827	32, 211	△ 2, 616

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 当該年度末における加入者のうち、平成１９年度以前加入口に係るものである。

○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属・職 名
佐々木 桃 子	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長
清 水 時 彦	Fiducia株式会社 代表取締役
鈴 木 裕 子	公認会計士
○ 栃本 一三郎	放送大学客員教授
◎ 村 山 令 二	健康保険組合連合会 参与 (公社) 日本年金数理人会 副理事長

◎印は座長、○は副座長